

実施

施行条件明示書

工 事 名 令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事
工 事 場 所 白石市小原字上町 地内

白石市

— 特 記 仕 様 書 —

施 工 条 件 明 示 書

工事番号			工事名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事		事務所名	宮城県白石市	
項 目			条 件	内 容			施 工 方 法	備 考
1 共通仕様書の適用			本工事は、宮城県土木部制定「共通仕様書」を適用するほか、本特記仕様書により施工するものとする。 仕様書の記載内容の優先は、「特記仕様書」「共通特記仕様書」「共通仕様書」の順とする。					
2 主任技術者及び監理技術者(以下、配置技術者という。)の配置								
(1) 現場施工に着手する日の指定 (配置技術者の配置要件の特例) ※平成25年4月1日以降適用「現場施工の着手日を指定した工事における配置技術者の配置要件の特例について」			◎	契約工期初日以降、90日以内に着手 (手持ち工事が完了した場合や、制約条件がない場合等は、期日以前の着手も可能)				
(2) 請負者が着手日を選択出来る工事(フレックス工事)			○	契約工期初日以降、〇〇日以内に着手 土木工事共通特記仕様書第1編1―1―4によること。				
(3) 上記以外			○	請負者は、現場施工に着手する日の指定がない限り、原則として、契約工期初日以降、30日以内に現場施工に着手				
			上記現場施工に着手する日の前日までの期間において、工事準備等を含め工事現場が不稼働であることが明確な場合は、配置技術者の工事現場への専任は要しない。 出納局契約課ホームページ参照のこと。http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/keiyaku/kk50.html					
3 特例監理技術者の配置								
			○ 対象	◎ 対象外	建設業法第26条第3項ただし書の規程の適用を受ける監理技術者(特例監理技術者)の配置。 特例監理技術者を対象とする場合は下記によるものとする			
			1 特例監理技術者を配置する場合は以下の(ア)～(サ)の要件を全て満たさなければならない。 (ア) 本工事の現場施工に着手する日までに、建設業法第26条第3項ただし書による監理技術者の職務を補佐する者(以下、「監理技術者補佐」という。)を専任で配置すること。 (イ) 監理技術者補佐は、一級施工管理技士補(令和3年4月1日施行予定)又は一級施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有するものであること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (ウ) 監理技術者補佐は入札参加者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (エ) 同一の特例監理技術者が配置できる工事は、本工事を含め同時に2件までとする。 (ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの(当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限り。)については、これら複数の工事を一の工事とみなす。) (オ) 特例監理技術者が兼務できる工事は、本工事を所管する土木事務所(地域事務所)管内及び隣接土木事務所(地域事務所)管内の宮城県内で施行される工事でなければならない。 (カ) 特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (キ) 特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (ク) 監理技術者補佐が担う業務等について、明らかにすること。 (ケ) 専任補助者を配置しない工事であること。 (コ) 維持管理業務同士は兼務できない。 ※24時間体制で応急処理工や緊急巡回等が必要な業務等 (サ) 配置技術者の追加専任を必要としないもの。 2 本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務する場合、配置技術者届出書及び特例監理技術者の配置を予定している場合の確認事項を提出すること。 3 本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は適切にコリンズ(CORIINS)への登録を行うこと。					
4 積算基準及び設計単価の適用期日								
(1) 積算基準及び設計単価の適用について			○ あり	◎ ない				
5 工程関係								
(1) 関連工事による施工時期の調整			○ あり	◎ ない				
(2) 施工時期による制限			○ あり	◎ ない				
(3) 関係機関等との協議の未成立			○ あり	◎ ない				
(4) 関係機関等との協議結果、特定条件の付加			○ あり	◎ ない				
6 公害対策関係								
(1) 施工方法、機械施設、作業時間等の制限			○ あり	◎ ない				
7 安全対策関係								
(1) 交通安全施設等の指定			○ あり	◎ ない				
(2) 占用埋設物との近接工事による 施工方法、作業時間の制限			○ あり	◎ ない				
8 排水工関係								
(1) 濁水、湧水処理のための特別な対策の必要性			○ あり	◎ ない				
9 建設副産物対策関係(建設発生土)								
(1) 建設発生土の処理・処分について			本工事の残土は、下記に運搬するものとする。なお、下記により難い場合が生じたときは、監督職員の指示によるものとし、設計変更の対象とする。					
			処理・処分する場所		処理・処分方法	距 離	制 限 時 間	備 考
			名称	所在地				
(2) 建設発生土	処理・処分	◎ あり	○ ない	白石市小原字久根山 地内	白石市小原字久根山 地内	処分方法については契約後協議による		

10 建設副産物対策関係(建設発生土以外の建設副産物)											
(1) 建設発生土以外の建設副産物の処理・処分について			下記の処理・処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、下記によらない場合は、監督職員と協議すること。また、処理・処分に先立ち処分場等の受入れの可否を確認すること。なお、廃棄物の処理に当たっては「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守すること(環境省または循環型社会推進課のHPを参照)。								
			処理・処分する場所		処理・処分方法		距離	制限時間			
			工事現場内及び工事現場間で再利用する場合は、施工管理及び契約方法等について、施工計画打合せ時に監督職員と協議すること。								
(2) 建設発生土以外の建設副産物	処理・処分	コンクリート塊	●ある	○ない	白石資源リサイクル興業㈱	白石市福岡蔵本中川原3	中間処理	14 km	時 分 ～ 分		
		アスファルト塊	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分		
		建設発生木材	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分		
		建設汚泥	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分		
		その他	○ある	●ない				km	時 分 ～ 分		
(3) 再生材の利用			●ある	○ない	種類・数量		再生アスファルト合材,RC-40				
11 現場環境改善			○ある	●ない	内容						
			現場環境改善の具体的な実施内容、実施期間については、施工計画書に明記し、監督職員と協議すること。								
12 品質証明											
(1) 品質証明書および施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	請負工事が、1億5千万円以上の工事および発注者が必要と認める工事。土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。						
(2) 施工プロセス品質確認チェックリストの対象			○ある	●ない	上記に該当せず、請負工事が1億円以上の工事。土木工事共通特記仕様書第3編1－1－9および品質証明実施要領によること。						
13 標準的な設計図書による発注方式			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第3編1－1－14によること。						
14 資材関係											
(1) 生コンクリート			生コンクリートの使用に当たっては、「宮城県生コンクリート品質管理監査会議」が交付する「品質管理監査合格証」を有する工場の製品、又は同等以上の品質管理を行っていることが認められる工場の製品を使用すること。								
(2) 購入土			購入土を使用する場合は、材料承諾時に「採石法第33条による採取計画認可書の写し」、又は「砂利採取法第16条の採取計画認可書の写し」を提出すること。								
(3) 宮城県グリーン製品の利用			必須		1.植生基盤材等、視線誘導標、型枠用合板は、原則として宮城県グリーン製品を用いること。						
「宮城県グリーン製品」利用推進指針によること。「宮城県グリーン製品」を使用した場合は、請負者は循環型社会推進課HPより「チェックリスト」をダウンロードし、使用材料や数量等を入力後、工事完了後に監督職員に提出(電子メール)すること。			○ある	●ない	2. 盛土材,埋め戻し材						
			○ある	●ない	3. その他()						
(4) 県内産製品の使用			○ある	●ない	本工事は、「県土木部発注工事における県内産製品優先使用の試行要領」の対象工事である。工事の施工にあたっては、試行要領に基づき適切に実施すること。 事業管理課ホームページ参照 http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/kensanzai.html						
(5) 現場吹付法枠工			吹付モルタルにおける圧縮強度の規格値は、18N/mm2以上とする。								
15 設計変更の手続き											
(1) 設計変更の手続きについて			設計変更については、工事請負契約書第19条～第26条及び共通仕様書第1編1－1－1-14～1－1－1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「工事請負契約における設計変更ガイドライン」(宮城県土木部)によることとする。								
			詳細については、以下のホームページ「設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】」を参考とすること。 https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/henkou-guideline.html トップページ＞しごと・産業＞土木・建築・不動産業＞建設業＞設計変更ガイドライン【土木工事,建設関連業務】								
16 その他											
(1) 舗装の下請制限について			○ある	●ない	土木工事共通特記仕様書第1編1－1－3によること。						
(2) 「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象の有無			○ある	●ない	本工事は「ダンプ土砂運搬等下請を行う工事における工事費内訳調査」の対象工事であり、請負者は、調査票等に必要事項を正確に記入し発注者に提出する他、ダンプ土砂運搬等下請負契約に関する関係書類を提出すること。 請負者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、請負者は、当該工事の受注者(当該下請工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む)も同様の義務を負う旨を周知すること。						
(3) 三者会議の対象の有無			○ある	●ない	本工事は、工事着手前等に当該工事の発注者、施工者、詳細設計等を担当した設計者が参加して、設計図書と現場の整合性の確認及び設計意図の伝達等を行う「三者会議」を設置する対象工事である。 土木工事共通特記仕様書第3編1－1－5によること。						
(4) 貸与資料の有無			○ある	●ない	本仕様書によるもののほか工事施工に関して必要な資料として工事契約後下記の資料を貸与する。 貸与資料()						
(5) 発注者支援(工事監督支援業務)対象の有無			○ある	●ない	工事監督支援業務の受注者が現場監督支援する場合、工事請負者対し「工事打合せ簿」により担当技術者(所属会社等名・氏名)の通知を行うこと。						
(6) 法定外の労災保険の付保について			本工事では、法定外の労災保険加入にかかる保険料を予定価格に反映しているため、本工事において受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。なお、加入後受注者は、工事請負契約書第62条に基づき、証券又はこれに代わるものを直ちに発注者に提示すること。								
(7) 熱中症対策に資する現場管理費補正の試行の有無			○ある	●ない	本工事は熱中症対策に資する現場管理費率の補正の試行対象工事である。本運用による設計変更を希望する場合は、別途定める「熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領」に基づき、発注者に協議すること。						
(8) 工事実績情報システム(コリンズ)登録			○ある	●ない	請負者は、工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「工事カルテ」を作成し登録申請を行うこと。						

働き方改革・生産性向上に関する事項

項 目	条 件		内 容
17 総合評価落札方式における「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用の有無			
(1)「ICT施工・3次元化等の活用提案」の適用工事	○ 対象	● 対象外	1. 対象工事の場合、活用する技術については、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき選択すること。 2. ICT施工・3次元化等の活用提案の適用の有無に係わらず、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に記載の技術は、施工計画・技術提案等(いわゆる作文)の評価対象外とする。(「簡易型(施工計画型)」,「標準型」,「高度型」の場合) なお、「ICT施工・3次元化等の活用提案」の対象外工事の場合も、同様の取扱いとする。
(2)実施された技術についての費用計上(設計変更)	○ 対象	● 対象外	設計変更の積算手法については、総合評価落札方式の手引きのとおりとする。なお、(1)が対象外の場合は、当該項目も対象外となる。
18 業務効率化			
(1)工事情報共有システムの活用	○ 対象	● 対象外	本工事は工事情報共有システムの活用対象工事であり、請負者は工事着手時に別途定める「工事情報共有システム事前協議チェックシート」により、必要事項について監督職員と協議を行うこと。実施にあたっては「土木工事における工事情報共有システムの実施要領」及び「土木工事における工事情報共有システムの活用ガイドライン」に基づき行うこと。
(2)工事書類の簡素化の試行について	○ あり	● なし	本工事は、工事書類の簡素化を目的とした試行対象工事である。実施にあたっては「宮城県土木部における工事書類簡素化の試行要領」に基づき行うこと。
(3)ウィークリースタンス等の推進	本工事は、受発注者協力のもと、建設業の魅力創出を図ることを目的にウィークリースタンス等の推進を図ることとし、「ウィークリースタンス等実施要領」に基づき、取組内容を受発注者間で協議及び共有し、工事を進めていくこととする。 詳細については、宮城県土木部事業管理課のホームページを参照すること。(http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/weekly.html)		
19 週休2日工事の適用の有無			
(1)週休2日工事	● 対象	○ 実施困難工事	1. 週休2日工事の対象工事の場合は、宮城県土木部「週休2日工事」実施要領に基づき行うこととする。 なお、週休2日工事の型式については、下記(2)のとおりとする。 2. 改正労働基準法(平成30年6月成立)による罰則付きの時間外労働規制が令和6年4月から建設業に適用されることを踏まえ、令和6年4月には、維持工事等も含めて、週休2日の確保を目指すことから、「週休2日工事」での発注を原則とする。ただし、応急復旧工事などの場合は、例外的に週休2日対象工事としないことも可能とする。その場合は「実施困難工事」として、下欄にその理由を記載する。
		実施困難工事の理由	
(2)週休2日工事の種別	発注者指定型(現場閉所型) ●	発注者指定型(交替制) ○	現場閉所型:巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、現場事務所での事務作業を含めて、1日を通して現場や現場事務所を閉所する。 交 替 制 :現場閉所を行うことが困難な工事について、技術者及び技能労働者が交替しながら休日確保の取組を行う。 当初積算時に4週8休以上を確保した場合の経費の補正を行うこととし、設計変更時に達成状況に応じた補正の見直しを行うこととする。
20 女性活躍推進モデル工事の適用の有無			
(1)女性活躍推進モデル工事	○ 対象	● 対象外	実施にあたっては、宮城県土木部「女性活躍推進モデル工事」実施要領に基づき行うものとする。 実施要領は、宮城県ホームページ(https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/jigyokanri/)で確認のこと。
21 下請承認事務簡素化モデル工事の適用の有無			
(1)下請承認事務簡素化モデル工事	○ 対象	● 対象外	実施にあたっては、発注者から工事打合せ簿により、「下請承認事務簡素化モデル工事」である旨を別途指示するものとする。
22 建設現場等における遠隔臨場の実施について			
	1. 建設現場における遠隔臨場の実施 「建設現場における遠隔臨場の実施」は、受注者における「段階確認に伴う待ち時間の削減や確認書類の簡素化」や発注者(監督員)における「現場臨場の削減による効率的な時間の活用」を目指し、動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)とWeb 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」の遠隔臨場を実施できるものとする。なお、遠隔臨場を実施する場合は、『建設現場等における遠隔臨場に関する実施要領(案)』の内容に従い実施する。 2. 遠隔臨場を適用する工種、確認項目 現場条件により遠隔臨場の適用性が一致しない場合も想定されることから、現場での適用・不適用については、受発注者間にて協議の上、適用する工種・確認項目を選定することとする。 3. 実施内容 (1)段階確認・材料確認、立会での確認 受注者が動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)により取得した映像及び音声Web 会議システム等を介して「段階確認」、「材料確認」と「立会」を行うものである。 (2)機器の準備 遠隔臨場に要する動画撮影用のカメラ(ウェアラブルカメラ等)やWeb 会議システム等は受注者が手配、設置するものとする。これによらない場合は監督職員等と協議し決定するものとする。 (3)遠隔臨場を中断した場合の対応 電波状況等により遠隔臨場が中断された場合の対応について、事前に受発注者間で協議を行う。対応方法に関しては、確認箇所を画像・映像で記録したものをメール等の代替手段で共有し、監督職員等は机上確認することも可能とする。なお、本項目は受発注者間で協議し、別日の現場臨場に変更することを妨げるものではない。 (4)効果の検証 遠隔臨場を通じた効果の検証及び課題の抽出に関するアンケート調査に協力するものとする。詳細は、監督職員等の指示による。 (5)費用 遠隔臨場にかかる費用については、標準積算基準の率計上に含まれる。なお、通信環境確保のための中継局を設置する場合などは、現場条件により積み上げにより計上する場合もあることから、事前に監督職員と協議すること。 (6)不正行為 遠隔臨場において故意に不良箇所を撮影しない等の不正行為等を行った場合は、県内規(不良不適格業者排除マニュアル等)に従い、処分を実施する場合がある。		

東日本大震災に伴う特例制度

項 目	条 件	内 容	施 行 方 法	備 考
23 被災地以外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用				
(1) 労働者確保に関する積算方法の試行工事	○ある	㊦ない	1 本工事は、「共通仮設費(率分)のうち営繕費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の工事」である。 営繕費:労働者送迎費、宿泊費、借上費 労務管理費:募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用 2 本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(宮城県土木部においては、土木工事標準積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費の割合は次のとおりである。 1) 共通仮設費(率分)に占める実績変更対象間接費(労働者送迎費、宿泊費、借上費)の割合: 9.19% 2) 現場管理費に占める実績変更対象間接費(募集及び解散に要する費用、賃金以外の食事、通勤等に要する費用)の割合: 1.29% 3 受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。 4 受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。 5 発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象間接費について実際に支払った額のうち証明書類において確認された費用から、宮城県土木部においては土木工事標準積算基準(宮城県土木部)に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。 6 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。 7 受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。	
(2) 労働者宿舍設置に関する積算方法の試行工事	○ある	㊦ない	本工事は、「労働者宿舍設置に関する試行要領」(以下試行要領)の対象工事である。 労働者宿舍の設置を希望する場合については、「試行要領」に基づき監督職員と事前に協議すること。	
24 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更				
(1) 遠隔地からの建設資材調達に係る設計変更	○ある	㊦ない	下記の建設資材は、通常地域内から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域以外から調達せざるを得ない場合には、事前に監督職員と協議するものとする。また、購入費及び輸送費に要した費用については、証明書類(契約書及び納品書等)を添付するものとする。なお、添付する証明書類(契約書及び納品書等)は原本を提示(写しの提出)とし、受注者名、納品者名、使用資材名、規格・形状、使用(納品)日、使用(納品)数量等が記載されている物を監督員に提出し、その費用について設計変更することとする。 購入費の対象は、生コンクリート・アスファルト合材・石材等(山砂、碎石、捨石、被覆石等)とする。 輸送費の対象は、仮設材(鋼矢板等)とする。 受注者は、購入費及び輸送費を変更したい場合は、「工事打合せ簿」に次の事項を記載し発注者に提出し協議するものとする。 1 地域内及び基地に、建設資材がないことを証明する資料(打合せメモ等) 2 遠隔地から購入及び輸送する建設資材の名称・規格及び製造・生産工場の名称(使用材料の建設資材名及び規格・形状等の証明資料「品質証明」) 3 遠隔地から建設資材を購入及び輸送する理由 4 製造・生産工場を選定した理由 5 見積もり書 6 その他、必要と思われる事項	
25 施工箇所が点在する工事の間接費の積算				
(1) 施工箇所が点在する工事積算方法の試行の対象工事	○ある	㊦ない	本工事は、施工箇所が点在する工事であり、共通仮設費及び現場管理費について標準積算と施工実態に乖離が考えられるため、「○○地区(施工箇所○○、○○)、△△地区(施工箇所○○)、□□地区(施工箇所○○)」(以下、対象地区という)ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事積算方法の試行」の対象工事である。 本工事における共通仮設費の金額は、対象地区毎に算出した共通仮設費を合計した金額とする。また、現場管理費の金額も同様に、対象地区毎に算出した現場管理費を合計した金額とする。なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正(大都市、施工地域等)については、対象地区毎に設定する。	
26 その他				
(1) 土砂等建設資材を供給元で引取する場合の積算の取扱い	○ある	㊦ない	・本工事の施工において、調達(購入)する予定の○○の設計単価は、現場持込価格(単価)としている。 ただし、契約後、施工計画に基づき、○○の調達条件について異なる場合は、監督職員と協議すること。 ・資材搬入において、標準作業以外の作業(現場外の仮置き等)が生じる場合は、監督職員と協議すること。	
(2) 東日本大震災の復旧・復興事業等における積算方法等に関する試行について	○ある	㊦ない	間接工事費(共通仮設費及び現場管理費)について、工事量の増大による資材やダンプトラック等の不足による作業効率の低下等により現場の実支出が増大し、積算基準による積算と乖離が生じていることが確認されたため、積算基準書等により各工種区分に従って対象額ごとに求めた共通仮設費率及び現場管理費率に、それぞれ以下の補正係数を乗じている。 補正係数 共通仮設費:1.3 現場管理費:1.1	

特 記 事 項

1 一般施工			
(1) 安全管理	現道上の作業であるため、使用材料等の落下・飛散・流出等により通行車両や歩行者、河川に影響を与えないように対策を講じ施工すること。また、工事区域から一般道への出入りに当たっては通行車両や自転車及び歩行者に十分注意すること。		
(2) 通行制限等	現地の交通状況等により規制方法・時間帯の変更が必要と判断される場合には、関係資料を整理し事前に監督職員と協議すること。		
(3) 段階確認・立会い事項等	共通仕様書に記載のある事項のほかに、完成時に不可視となるものについては、事前に監督職員と協議のうえ実施内容を決定すること。	具体的な内容と回数について、施工計画書に記載すること。	
(4) 事前調査	事前測量を早め実施し、数量について監督員と協議を行う。	監督員と協議	
(5) 現地調査	現地調査によって工法及び施工方法の設計変更の可能性があり、協議により実施内容を決定すること。		
(6) 規制区画について	規制延長が過度に大きくならないよう配慮するとともに、住民や道路利用者への安全が確保した施行体制をとるように努めること。		
(7) 住民への周知	施工に着手する2週間前には住民に周知すること。		
(8) 暴力団等の排除について	(1) 受注者が、この契約の履行期間中に白石市入札契約暴力団等排除措置要綱(平成20年白石市告示第83号。以下「排除要綱」という。)別表1各号に該当すると認められたときは、契約を解除することがある。 (2) 受注者は、排除要綱別表1各号に該当し、本市から入札参加除外措置を受けている者にこの契約の全部又は一部を下請負させ、若しくは受託させてはならない。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、排除要綱別表1各号に該当すると認められるときは、当該下請契約等の解除を求めることがある。 (3) 受注者は、この契約の履行に当たり暴力団員又は暴力団関係者(以下「暴力団員等」という。)から不当要求又は妨害を受けたときは、速やかに警察への通報を行い、捜査上必要な協力を行うとともに、発注者へ報告すること。また、この契約の下請負若しくは受託をさせた者が、暴力団員等から不当要求又は妨害を受けたときは、同様の措置を行うよう指導すること。 なお、暴力団員等から不当要求又は妨害を受け、警察への通報、捜査協力及び発注者への報告が適切に行われた場合で、これにより、履行遅滞等が発生するおそれがあると認められるときは、必要に応じて、工程の調整、工期の延長等の措置を講じる。		
(9) 白石市基準点管理保全要綱について	(1) 基準点の破損や機能喪失の防止について 受注者は、工事施工箇所若しくはその付近に白石市基準点管理保全要綱(平成29年白石市告示第47号以下「管理保全要綱」という。)第2条各号の定める基準点(以下「基準点」という。)が設置されているか否かを確認し設置されている場合は管理保全要綱第6条第4項に定める協議の実施を速やかに要請すること。 (2) 費用負担について 受注者は、上記の協議をしていない、または協議の回答に反して滅失、き損した基準点を復旧するための費用を負担しなければならない。 (3) 工事施工箇所付近基準点について 基準点の構造物が、掘削底面端から45度以上の線に入る場合、その基準点は掘削工事の付近にあるものとする。		
(10) 舗装仕上げ面について	舗装の仕上げ面については原型通りの勾配を設けることとするが、周辺に排水施設がある場合は排水施設へ流れるように勾配を設けることとする。		
(11) 路盤厚について	監督員、関係機関と協議の上、路盤厚を決定すること。		
(12) 調査確認事項について	現地状況を確認の上、支障するもの(文化財、用地等)がないか監督員と協議すること。		

参 考 明 細 書

令和 7 年度											
実 施 設 計 書											
作成日 白 石 市 令和 7年 7月 24日											
決 裁											
工 事 名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3) 橋梁修繕工事										
工 事 場 所	白石市小原字上町 地内										
工 事 概 要	林道黒森線(無名橋3) L=13.2m W=3.0m 門型カルバート工 コンクリート工(場所打函渠) V=96.3m³ 土工 掘削工 V=547m³ 路体(築堤)盛土工 V=504m³ アスファルト舗装工 表層(再生密粒度As20、t=5cm) A=23.2m² 路盤工(RC-40、t=43cm) A=23.2m² 仮設工 一式										
工 期	自 令和 年 月 日 至 令和 8 年 3 月 20 日										

設計内訳書（本01）

工事番号:

工事名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事				事業区分 工事区分		
工事区分・工種・種別・細別		規格	単位	数量	単価	金額	摘要
土工							
			式	1			
掘削工							
			式	1			
バックホウ掘削(掘削積込、積込)		林道工事における5000m3未満 地山の掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし					単1号
			m3	348			
バックホウ掘削(掘削積込、積込)		林道工事における5000m3未満 地山の掘削 岩塊・玉石・軟岩(I)A 障害なし 超低騒音型・排ガス対応型(2014年規制)					単3号
			m3	199			
盛土工							
			式	1			
路体(築堤)盛土 [復興(岩手・宮城・福島)]		山地(B) 普通作業員 4.0m以上 10,000m3未満 無し					
			m3	504			
購入土(土材料)		山砂 不洗					単5号
			m3	255			
残土処理工							
			式	1			
残土処理工		L=3.0km					単6号
			m3	199			
門型カルバート工							
			式	1			
コンクリート(場所打函渠)		山地(B) 普通作業員 生コンクリート 一般養生 延長無し					
			m3	96.3			
型枠		山地(B) 普通作業員 一般型枠 鉄筋・無筋構造物					
			m2	264.1			
鉄筋加工組立(D10≧径≦D51)		一般構造物 補正無し(一般構造物) 10t以上 一般作業 一般作業 時間的制約なし 昼間作業 太径鉄筋有り 太径鉄筋					単10号
			t	15.1			

設計内訳書（本01）

工事番号:

工事名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事				事業区分 工事区分		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
均しコンクリート	山地(B)普通作業員 生コンクリート 無し 一般養生・特殊養生(練炭)						
		m3	1.5				
アスファルト舗装工							
		式	1				
林道舗装工							
		式	1				
表層(車道・路肩部)	3.0m超 50mm アスファルト合材 アスファルト乳剤 全ての費用						
		m2	23.2				
路盤工							
		式	1				
下層路盤(車道・路肩部)	3層施工 430mm 再生クラッシャーラン 全ての費用						
		m2	23.2				
道路付属施設工							
		式	1				
防護柵工							
		式	1				
防護柵設置 コンクリート建込	Gr-C-2B (塗 装 品) 21m以上100m未満「手間＋材料費」で計上 (標準)標準 昼間作業 直線部 補正無し 加算額						単11号
		m	27.8				
仮設工							
		式	1				
手摺先行型枠組足場	安全ネットが不要 ラフテレーンクレーン 油圧ジブ型25t吊(低騒音型・排3次) [標準]山地(B) 普通作業員						単12号
		掛m2	191				
パイプサポート支保工	t≤120cm 山地(B) 普通作業員						単13号
		空m3	26				
構造物とりこわし工							
		式	1				

設計内訳書（本01）

工事番号:

工事名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事				事業区分 工事区分		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
コンクリート取壊し							
		式	1				
構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 時間的制約 無 昼間 補正無し 不要 割増補正無し (0.0)						単14号
		m3	26.3				
ダンプトラック運搬	ダンプトラック 4t アスファルト・コンクリート塊 上記以外の運搬 (4.8) 14km ハックホ山0.45(平0.35)m3 良 好						単15号
		m3	26.3				
処分費(m3)	コンクリート無筋						
		m3	26.3				
交通誘導員							
		式	1				
交通誘導警備員B(1式当り)	2人/日 29日						単17号
		式	1				
直接工事費計							
		式	1				
共通仮設費							
		式	1				
共通仮設費(率計上)							
		式	1				
純工事費							
		式	1				
現場管理費							
		式	1				
工事原価							
		式	1				
一般管理費等							
		式	1				

設計内訳書（本01）

工事番号：

工事名	令和7年度 林道黒森線(無名橋3)橋梁修繕工事				事業区分 工事区分		
工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	摘要	
工事価格							
		式	1				
消費税相当額							
		式	1				
工事費計							
		式	1				

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単1号	バックホウ掘削(掘削積込、積込)	林道工事における5000m3未満 地山の掘削 砂・砂質土・粘性土・礫質土 障害なし	単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
バックホウ 後方超小旋回型 超低騒音型 山0.45(平0.35)m3(排3次)							単2号	
			日	1.031				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単2号	バックホウ 後方超小旋回型 超低騒音型 山0.45(平0.35)m3(排3次)		単位	日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)								
			人	1				
軽油		1. 2号 パトロール給油						
			L	69				
バックホウ(クローラ型)[後方超小旋回・超低騒・排対型(3次)]		標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)						
			供用日	1.48				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1日当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単3号	バックホウ掘削(掘削積込、積込)	林道工事における5000m3未満 地山の掘削 岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)A 障害なし 超低騒音 型・排ガス対型(2014年規制)「標準」	単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
バックホウ 後方超小旋回型 超低騒音型 山0.45(平 0.35)m3(2014年規制)							単4号	
			日	1.37				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単4号	バックホウ 後方超小旋回型 超低騒音型 山0.45(平0.35)m3(2014年規制)	単位	日	割戻数量	1	単価	
名称・規格		単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(特殊)							
		人	1				
軽油							
		L	69				
バックホウ(クローラ)[後方超小旋回・超低・排対(2014年規制)]							
		標準バケット容量(山積0.45/平積0.35m3)					
		供用日	1.48				
諸雑費							
		(まるめ)					
		合計					
		1日当り					

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単5号	購入土(土材料)	山砂 不洗	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
山砂		不洗						
			m3	1				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単6号	残土処理工	L=3.0km	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
バックホウ掘削(掘削積込、積込)		林道工事における5000m3未満 ルーズな状態の積込 岩塊・玉石・破碎岩 障害なし 岩補正 無 超低騒音型・排ガス削減型 5000m3未満 5.3km未満					単7号	
ダンプトラック運搬		ダンプトラック 4t 土 砂 DID区間率 70%未満30%以上 (5.3) 3km バックホウ 山0.45(平0.35)m3 良 好	m3	1			単8号	
整地〔復興(岩手・宮城・福島)〕		山地(B) 普通作業員 残土受入れ地での処理	m3	1				
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単7号	バックホウ掘削(掘削積込、積込)	林道工事における5000m3未満 ルーズな状態の積込 岩塊・玉石・破碎岩 障害なし 岩補正 無 超低騒音型・排ガス対型(2014年規制)「標	単位	m3	割戻数量	100	単価	
名称・規格	条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
バックホウ 後方超小旋回型 超低騒音型 山0.45(平0.35)m3(2014年規制)							単4号	
諸雑費	(まるめ)		日	1.429				
			式					
	合計							
	1m3当り							

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単8号	ダンプトラック運搬	ダンプトラック 4t 土 砂 DID区間率70%未 満30%以上 (5.3) 3km バックホウ山0.45(平 0.35)m3 良 好	単位	m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ダンプトラック 普通 4t積						単16号	
			時間	24.39				
	諸雑費	(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単10号	鉄筋加工組立(D10≦径≦D51)	一般構造物 補正無し(一般構造物) 10t以上 一般作業 一般作業 時間的制約なし 昼間作 業 大径鉄筋有り 大径鉄筋 10%未満 補正無	単位	t	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
鉄筋工		加工・組立共 一般構造物						
			t	1				
鉄筋コンクリート用棒鋼		SD345 D16～25						
			t	1.03				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1t当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単11号	防護柵設置 コンクリート建込	Gr-C-2B (塗 装 品) 21m以上100m未満「手 間＋材料費」で計上 (標準) 標準 昼間作業 直線部 補正無し 加算額無し	単位	m	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
ガードレール設置工 CO建込用		Gr-C-2B 塗装						
			m	1				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単12号	手摺先行型枠組足場	安全ネットが不要 ラフテレーンクレーン 油圧ジブ型 25t吊(低騒音型・排3次) [標準] 山地(B) 普通作業員	単位	掛m2	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役								
			人	1.6				
とび工								
			人	7				
普通作業員								
			人	1.3				
ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型)		25t吊						
			日	1.4				
諸雑費		(率+まるめ)						
			%	34				
		合計						
		1掛m2当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単13号	パイプサポート支保工	t≦120cm 山地(B) 普通作業員	単位	空m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額		摘要
土木一般世話役								
			人	2.6				
型わく工								
			人	4.7				
とび工								
			人	2.2				
普通作業員								
			人	5.1				
諸雑費		(率+まるめ)						
			%	15				
		合計						
		1空m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単14号	構造物とりこわし	無筋構造物 機械施工 時間的制約 無 昼間 補正無し 不要 割増補正無し(0.0)	単位	m3	割戻数量	1	単価	
名称・規格	条件		単位	数量	単価	金額	摘要	
無筋構造物	昼間 機械施工 制約無							
			m3	1				
諸雑費	(まるめ)							
			式					
	合計							
	1m3当り							

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単15号	ダンプトラック運搬	ダンプトラック 4t アスファルト・コンクリート塊 上記 以外の運搬 (4.8) 14km バックホウ 山0.45(平均0.35)m3 良 好	単位	m3	割戻数量	100	単価	
	名称・規格	条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
	ダンプトラック 普通 4t積						単16号	
			時間	90.909				
	諸雑費	(まるめ)						
			式					
		合計						
		1m3当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単16号	ダンプトラック 普通 4t積		単位	時間	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
運転手(一般)								
			人	0.17				
軽油		1. 2号 パトロール給油						
			L	5.4				
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル]		4t積級						
			時間	1				
タイヤ損料(ダンプ)		4t 良好 タイヤ損料						
			時間	1				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1時間当り						

単 価 表

単価使用年月	
歩掛適用年月	
労務調整係数	

単17号	交通誘導警備員B(1式当り)	2人/日 29日	単位	式	割戻数量	1	単価	
名称・規格		条件	単位	数量	単価	金額	摘要	
交通誘導警備員B								
			人	58				
諸雑費		(まるめ)						
			式					
		合計						
		1式当り						

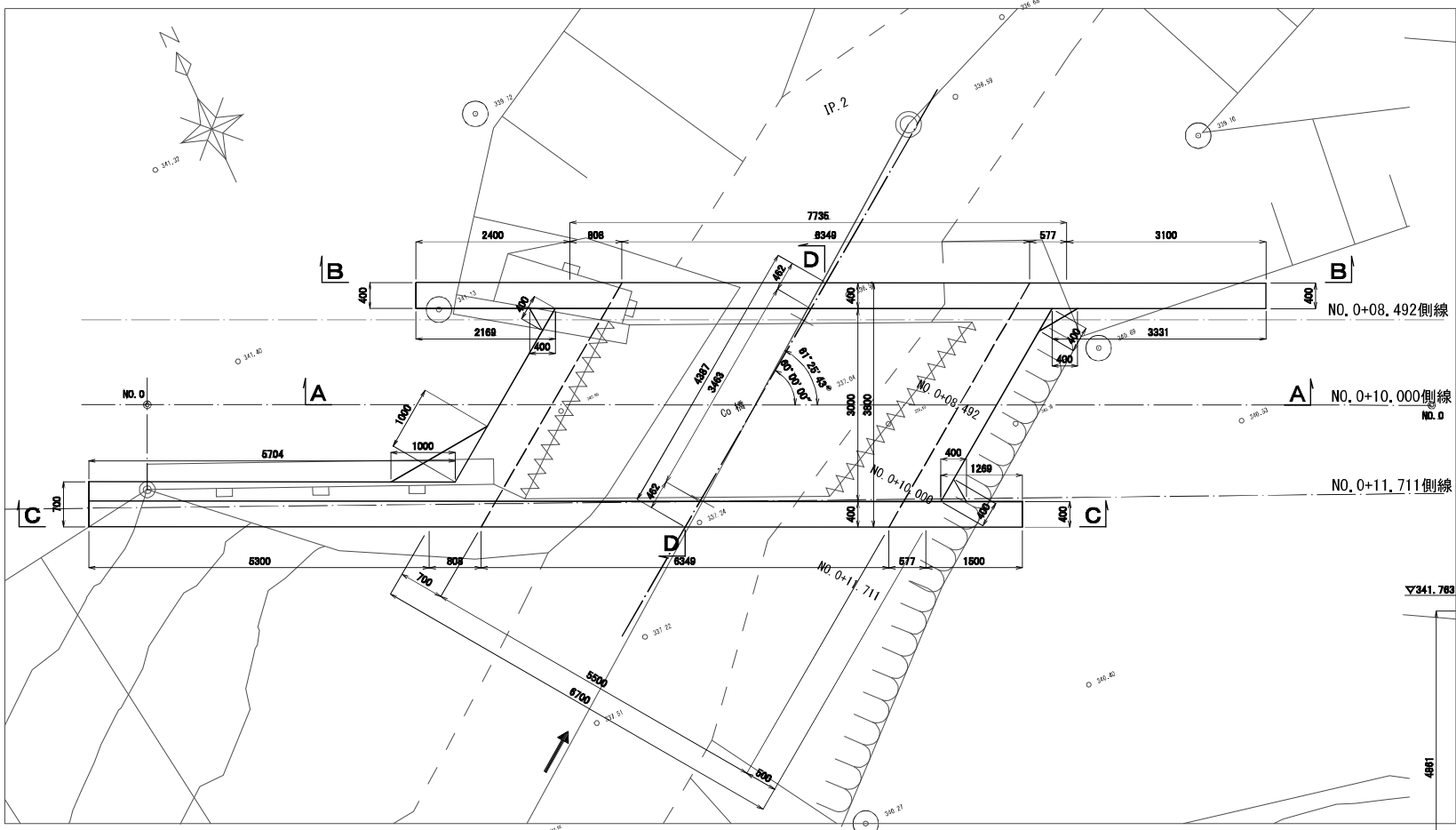
白石市管内図



一般構造計画図

S=1:50

平面図

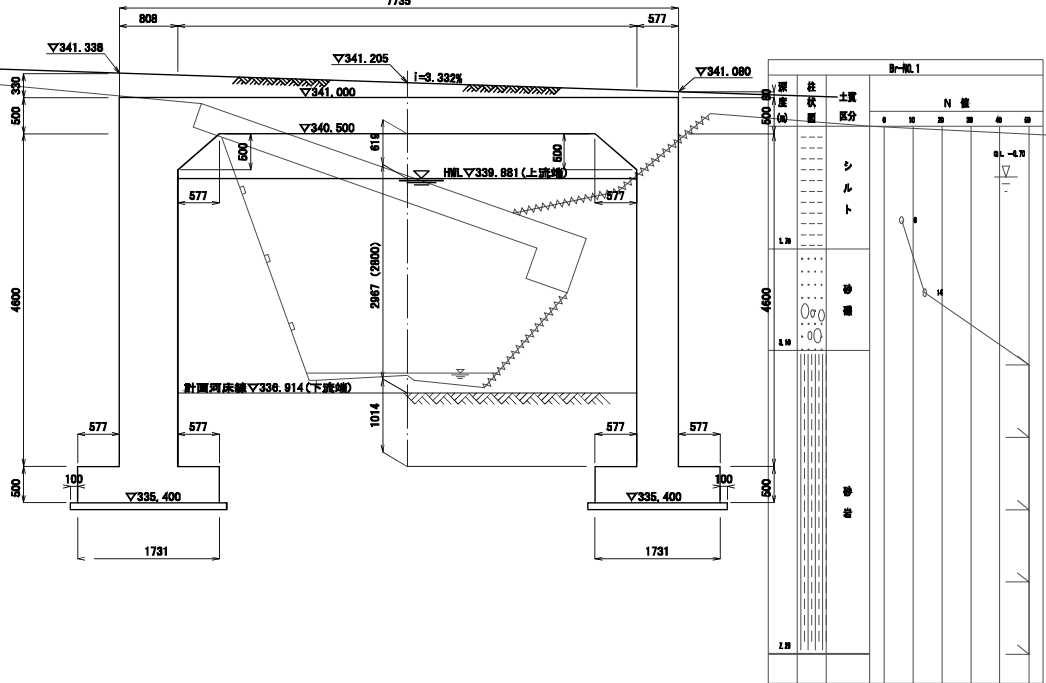


A-A断面

NO. 0+10.000

DL=335.000

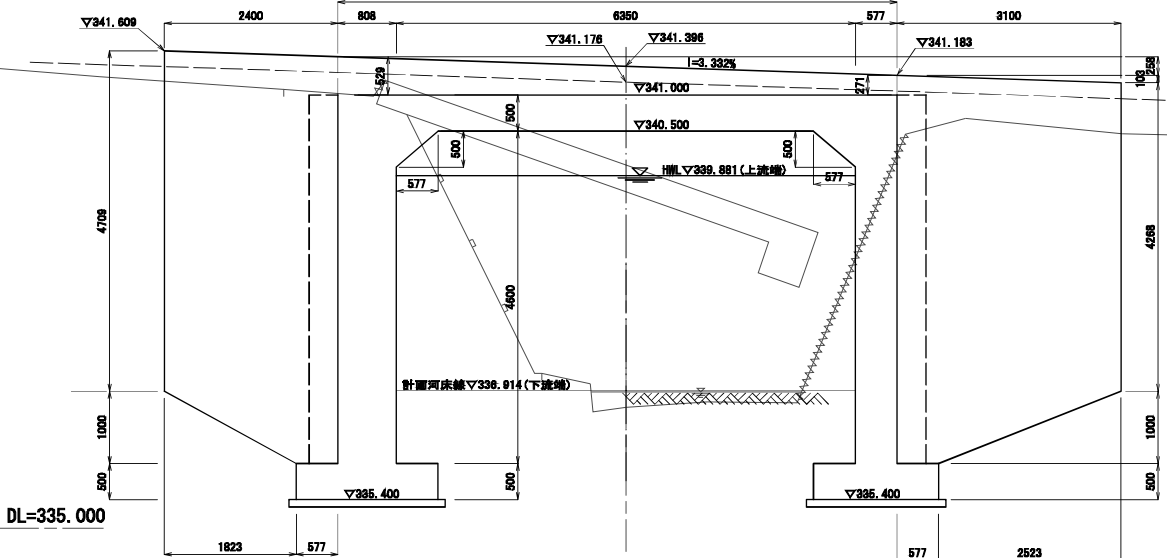
DL=335.000



B-B断面

NO. 0+08.492

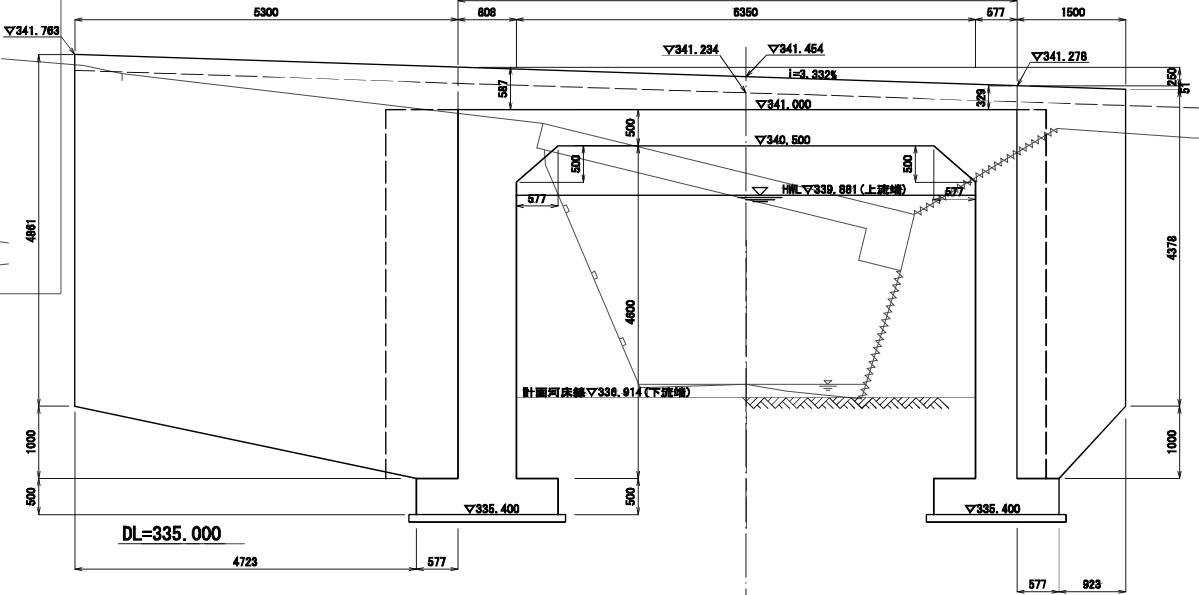
下流側



C-C断面

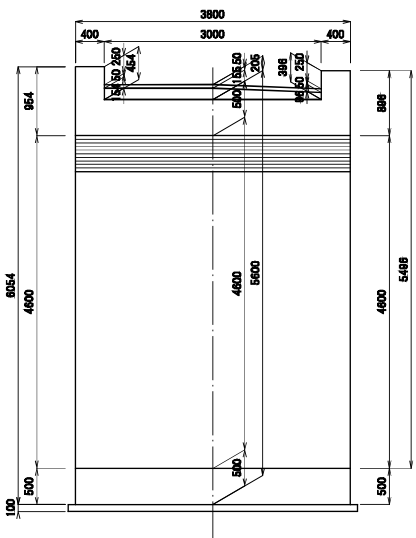
NO. 0+11.711

上流側



上流 下流

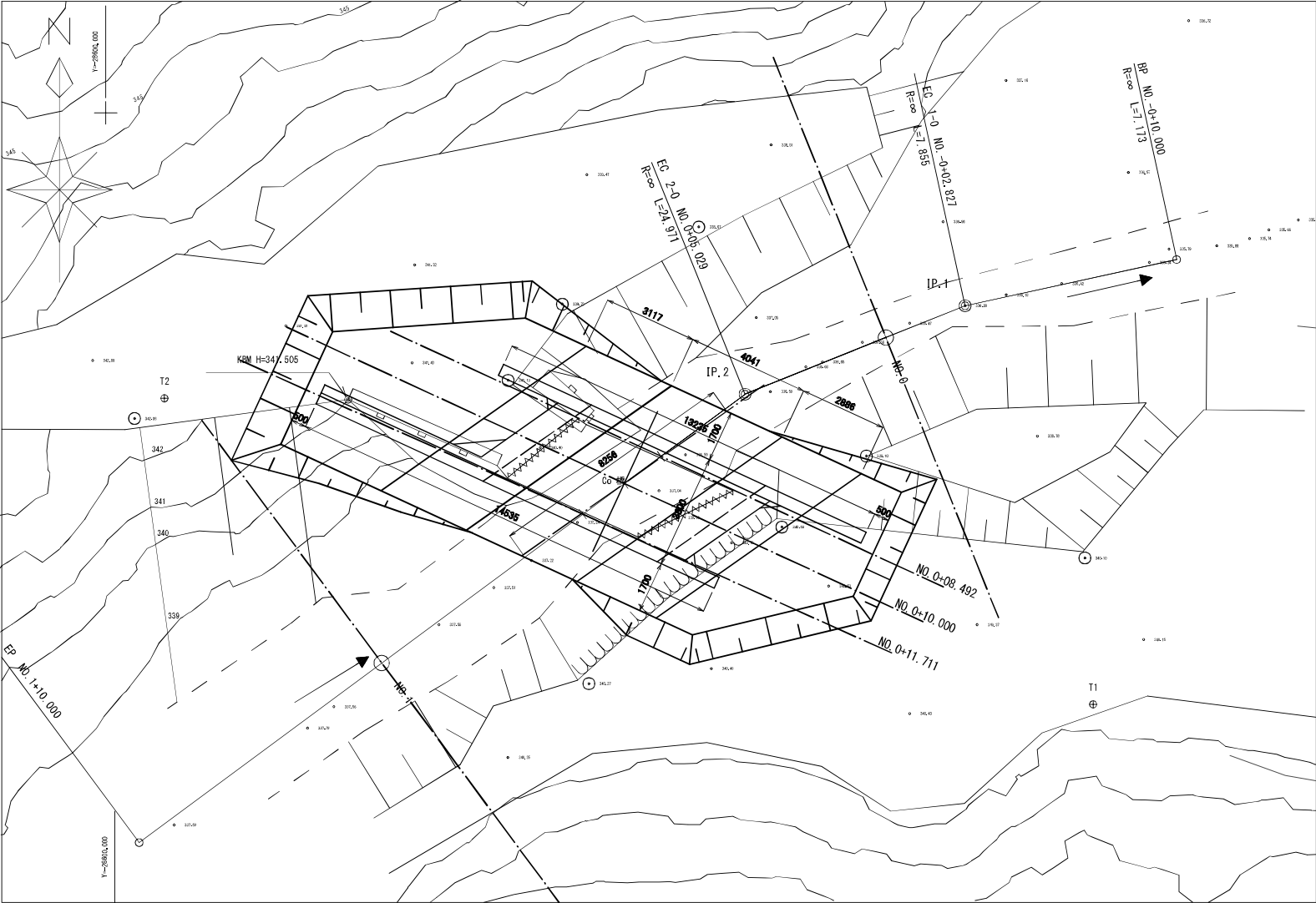
D-D断面



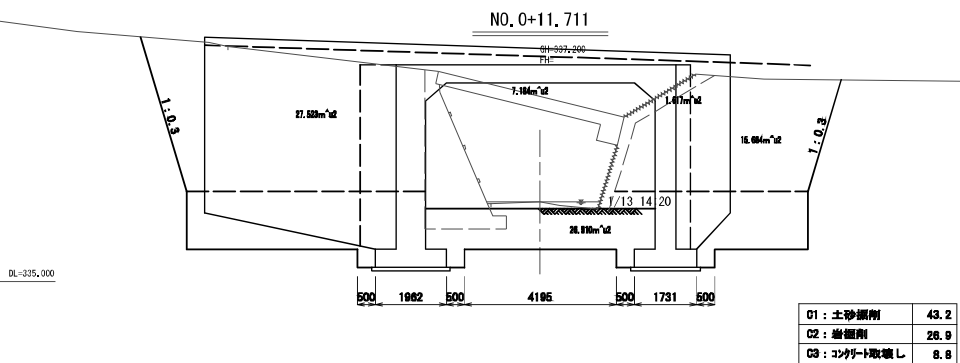
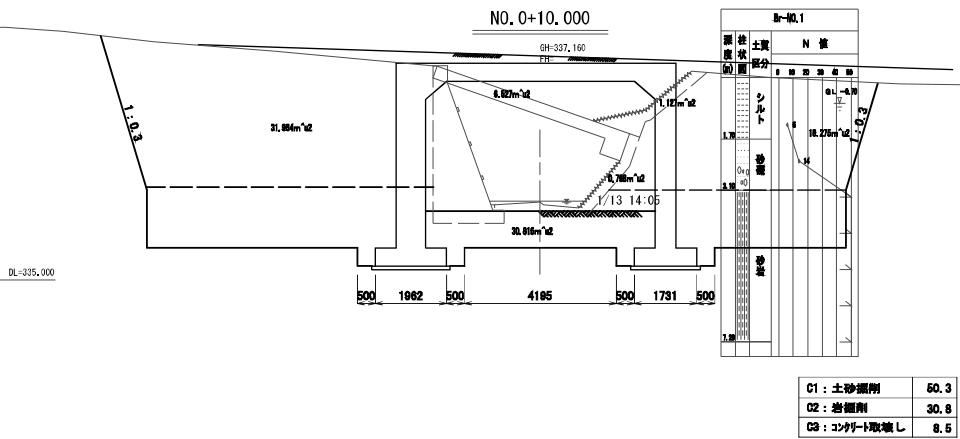
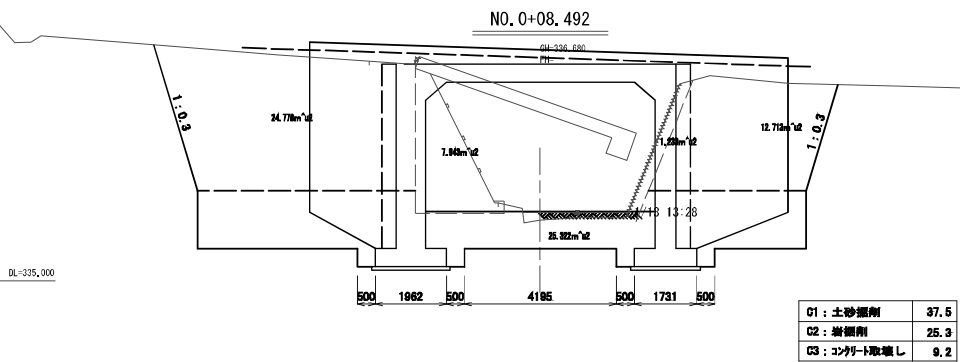
業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	一般構造計画図		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	1/14

土工計画図

平面図



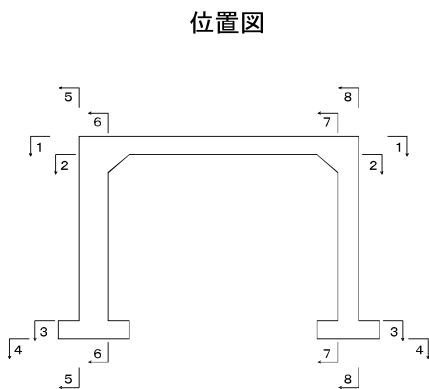
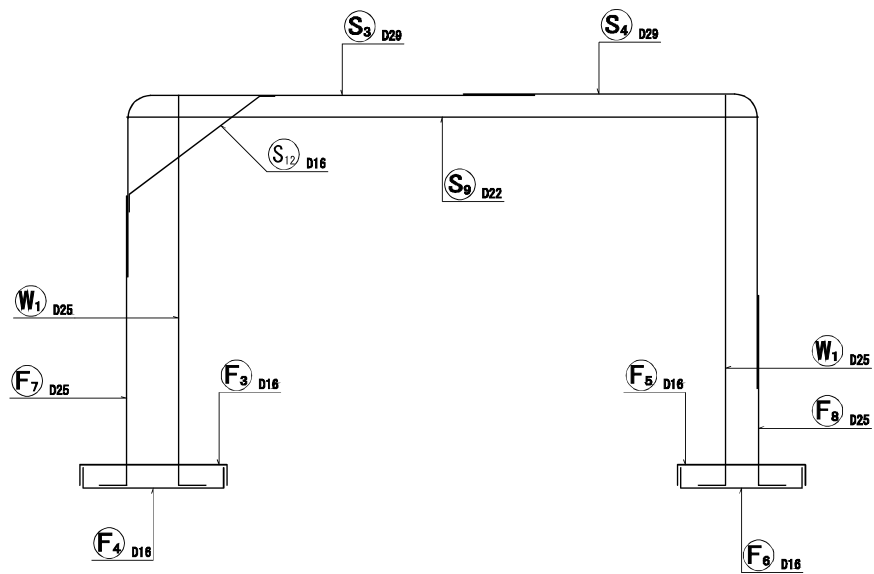
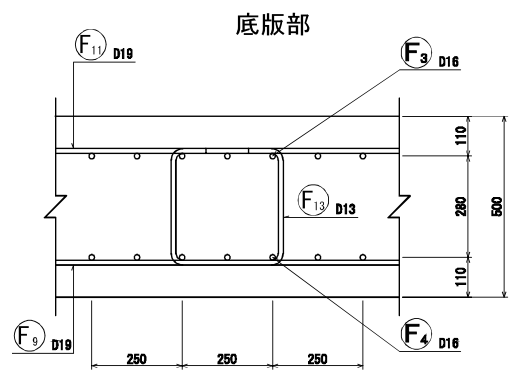
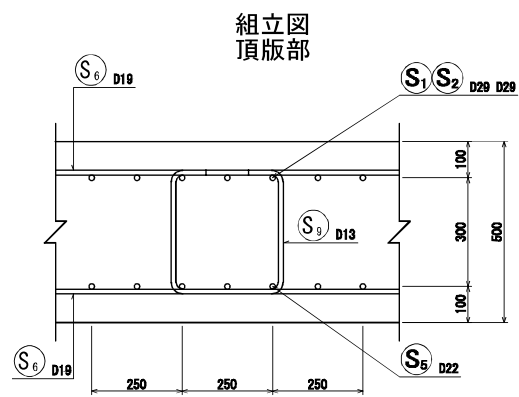
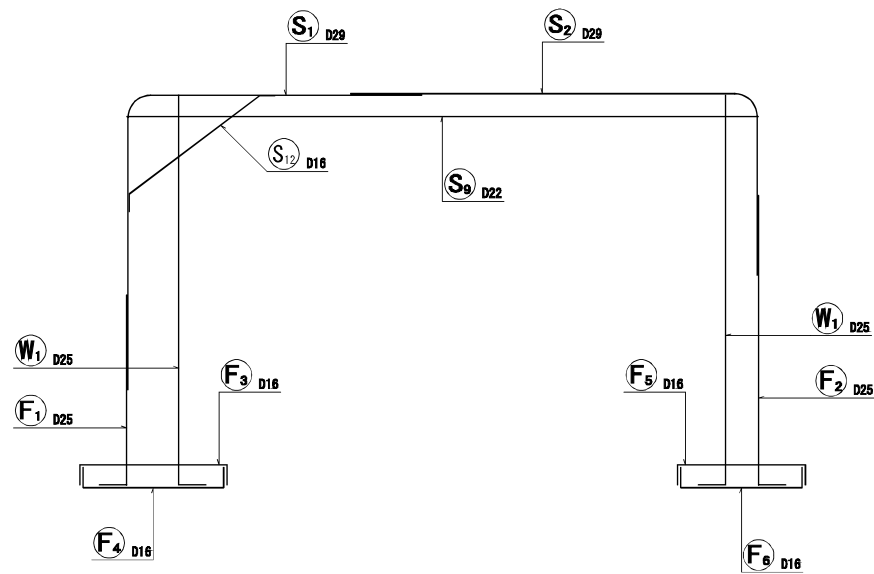
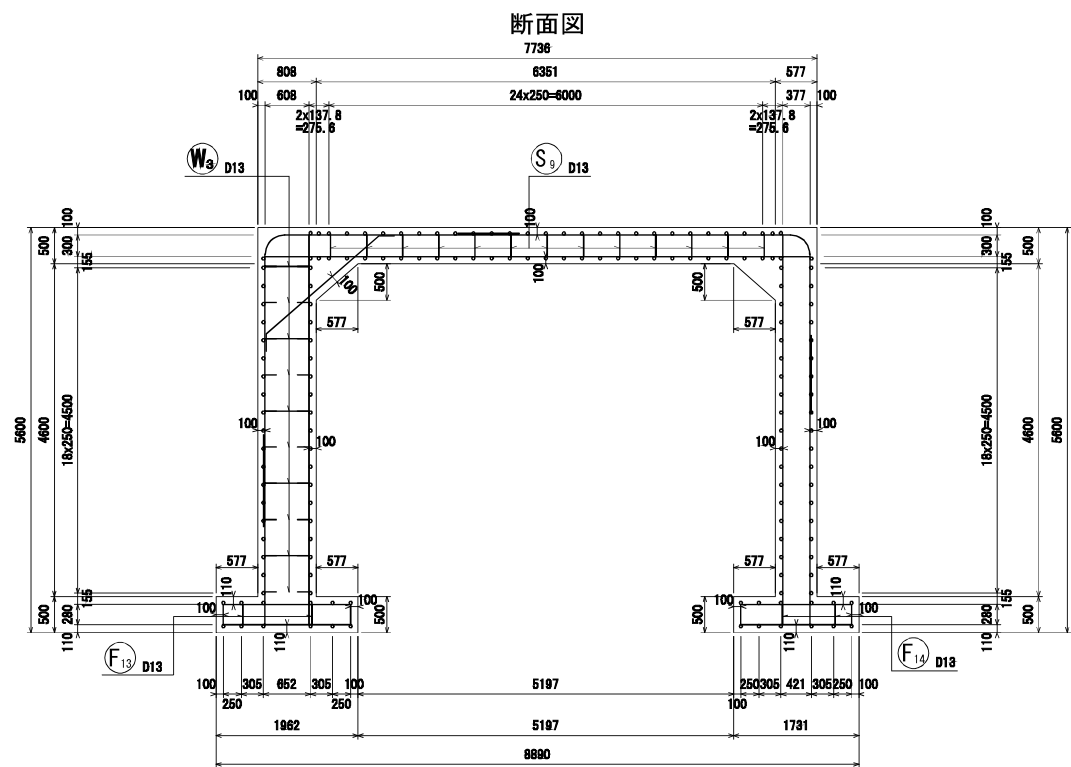
横断図



業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	土工計画図		
縮尺	1:100	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	2/14

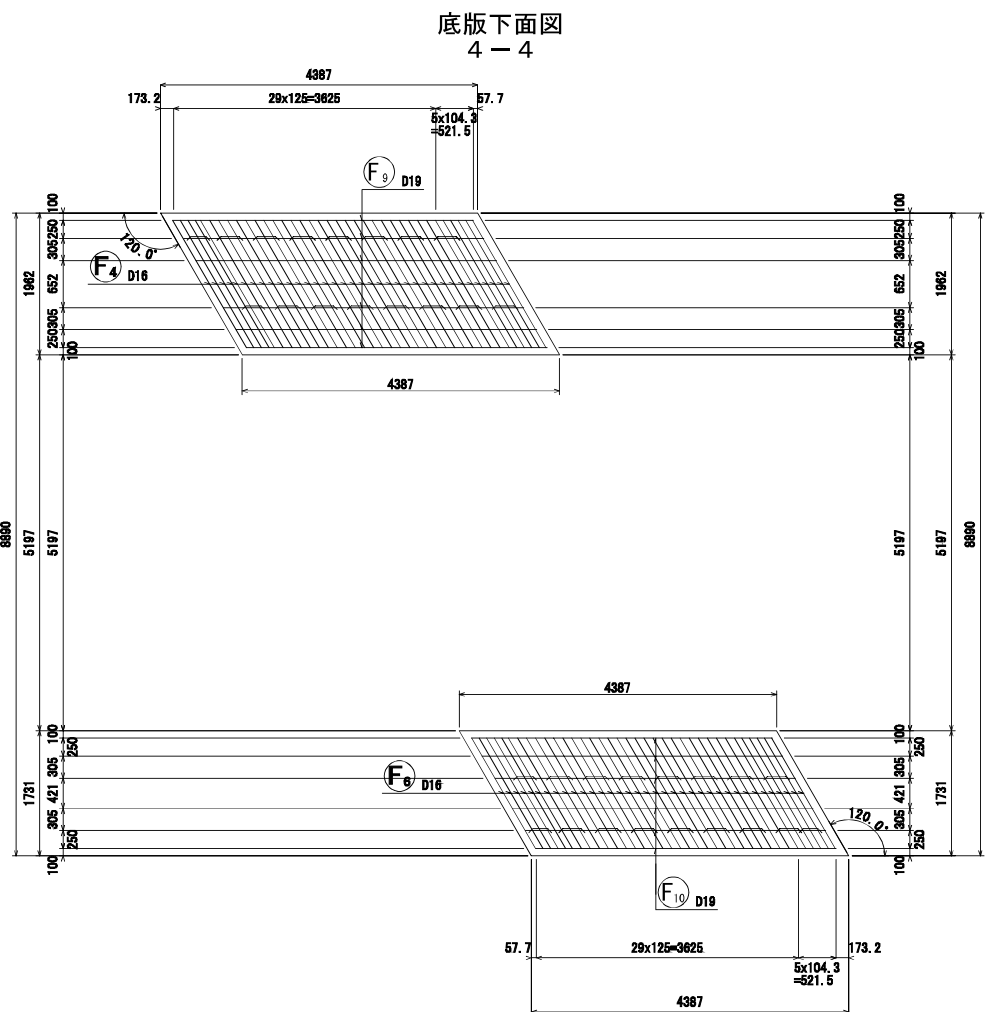
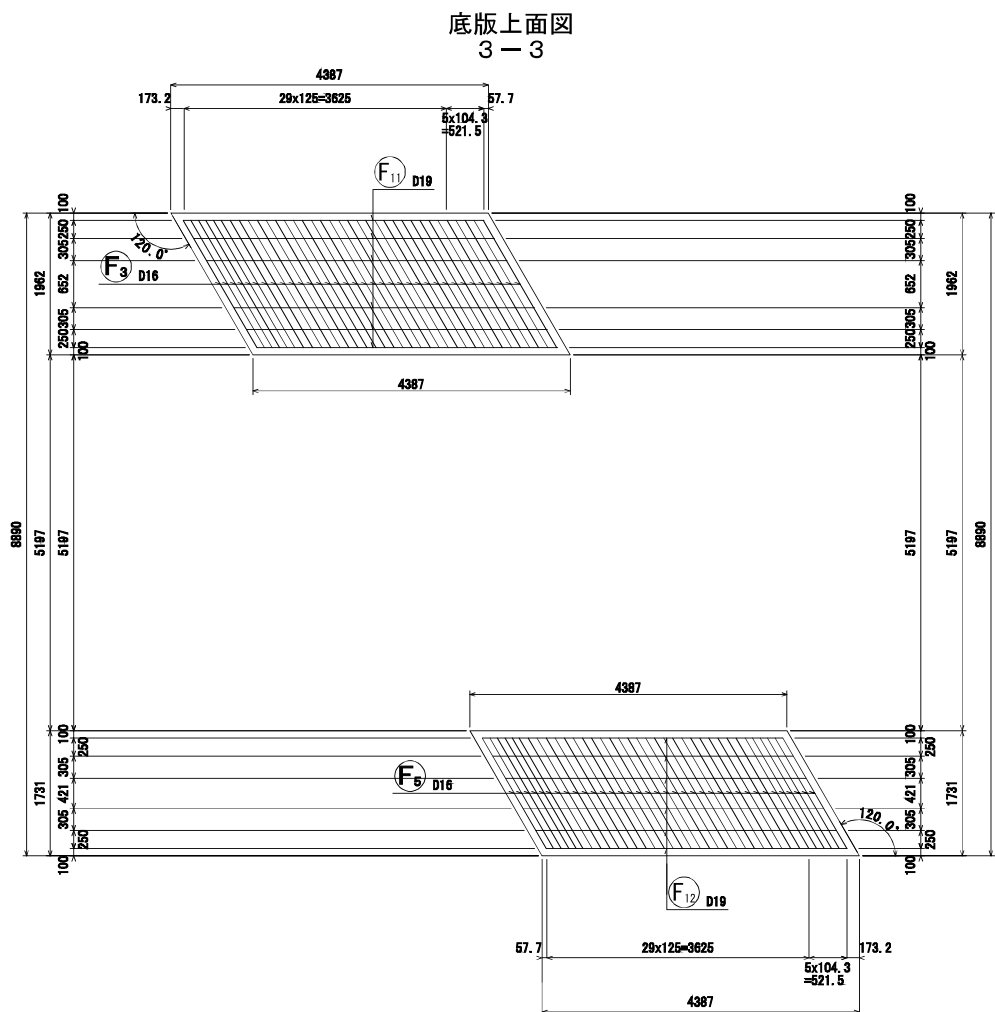
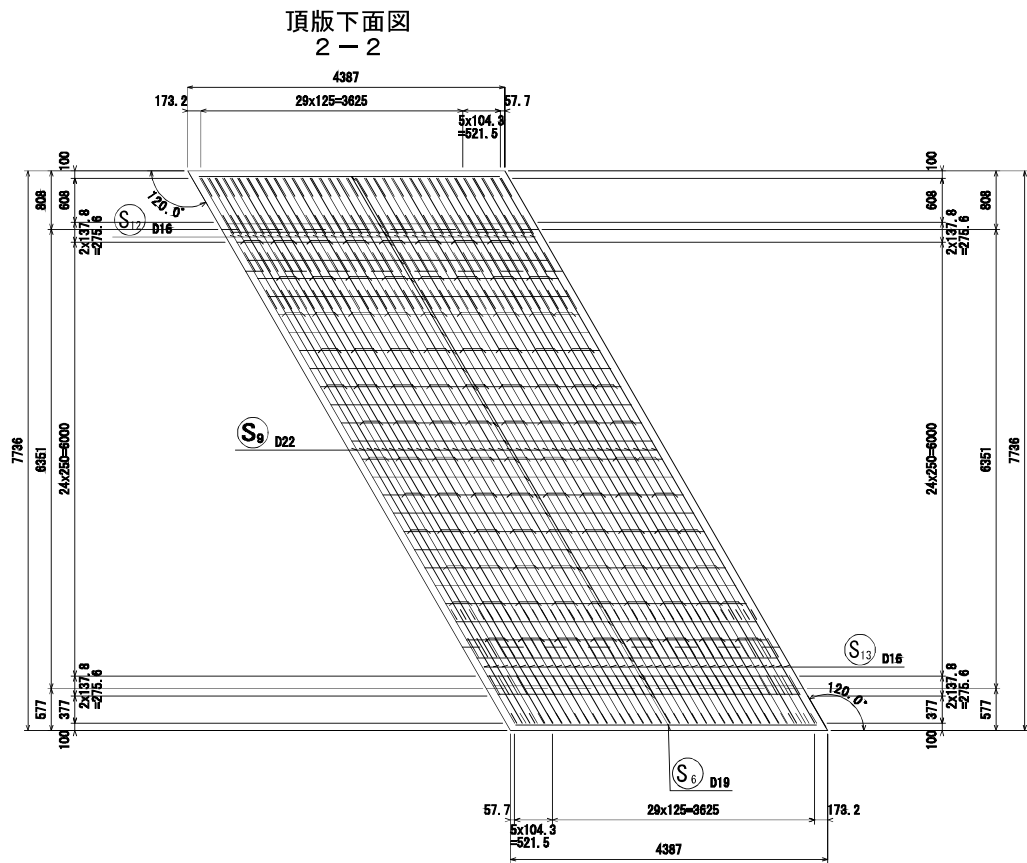
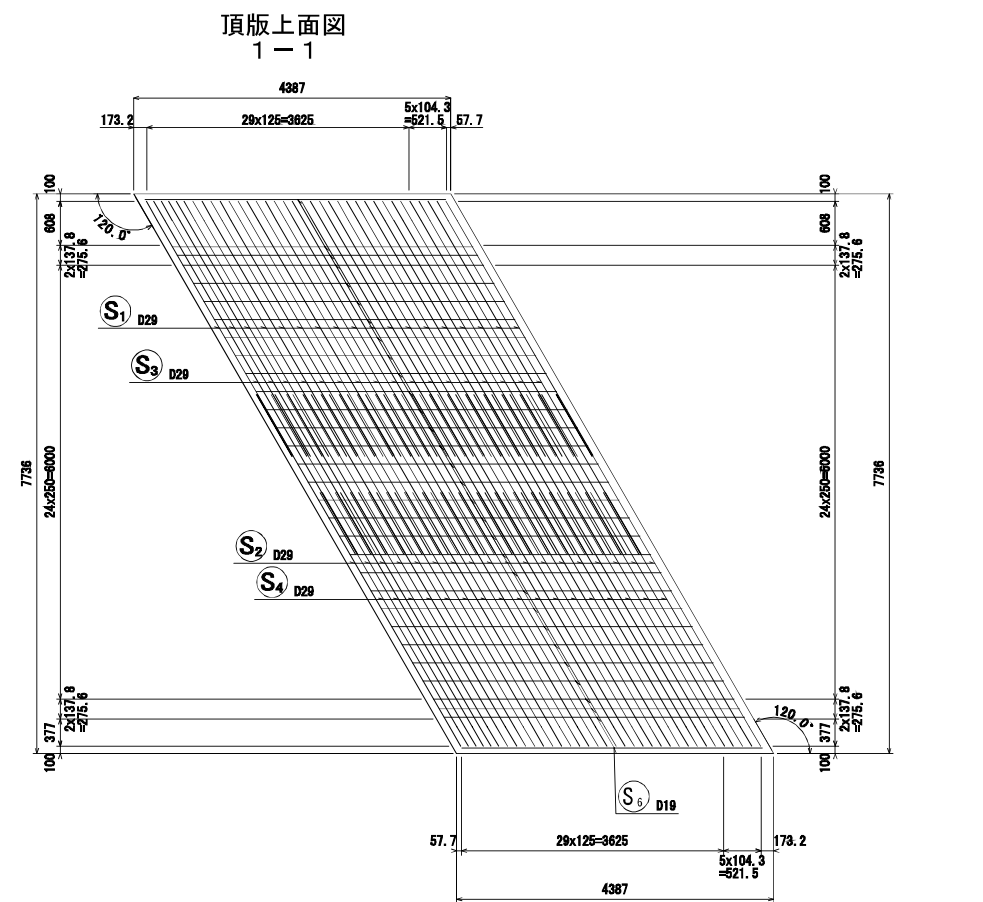
門型カルバート配筋図（本体）－ 1

S = 1:50 1:100



業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（本体）-1		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	3/14

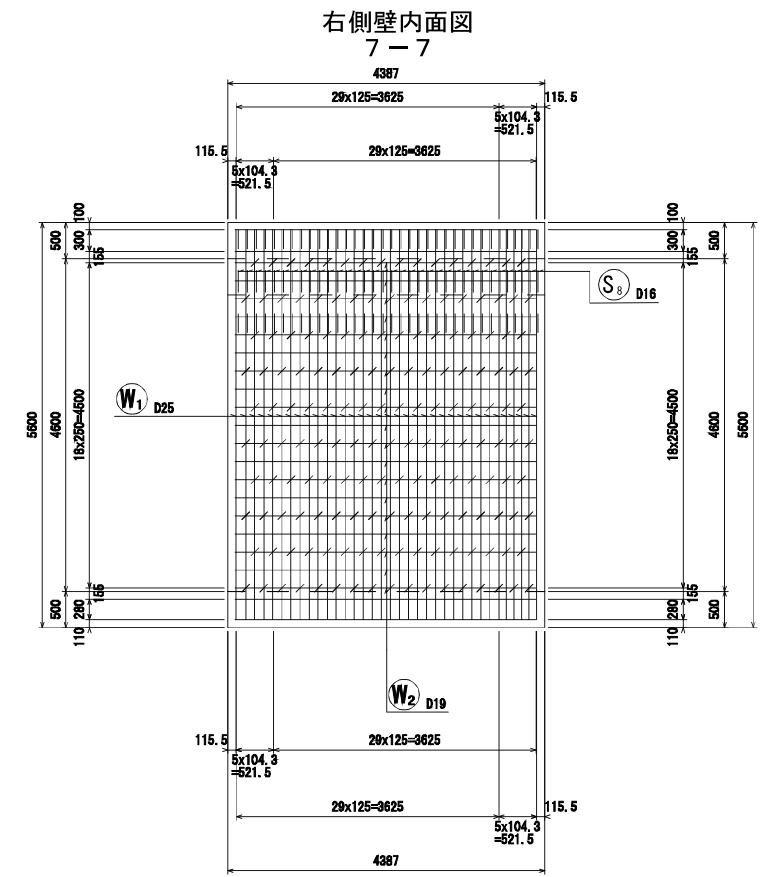
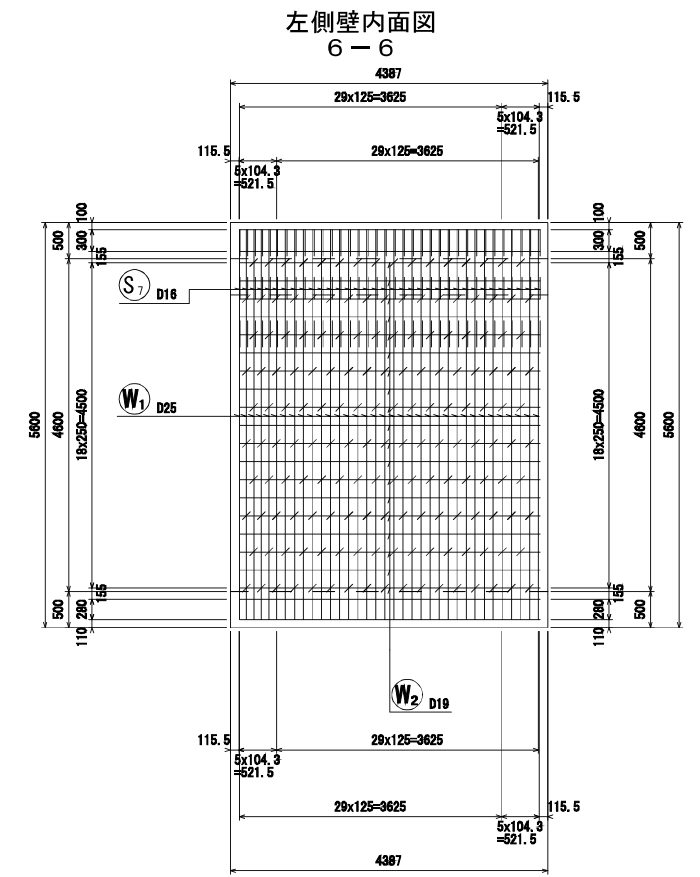
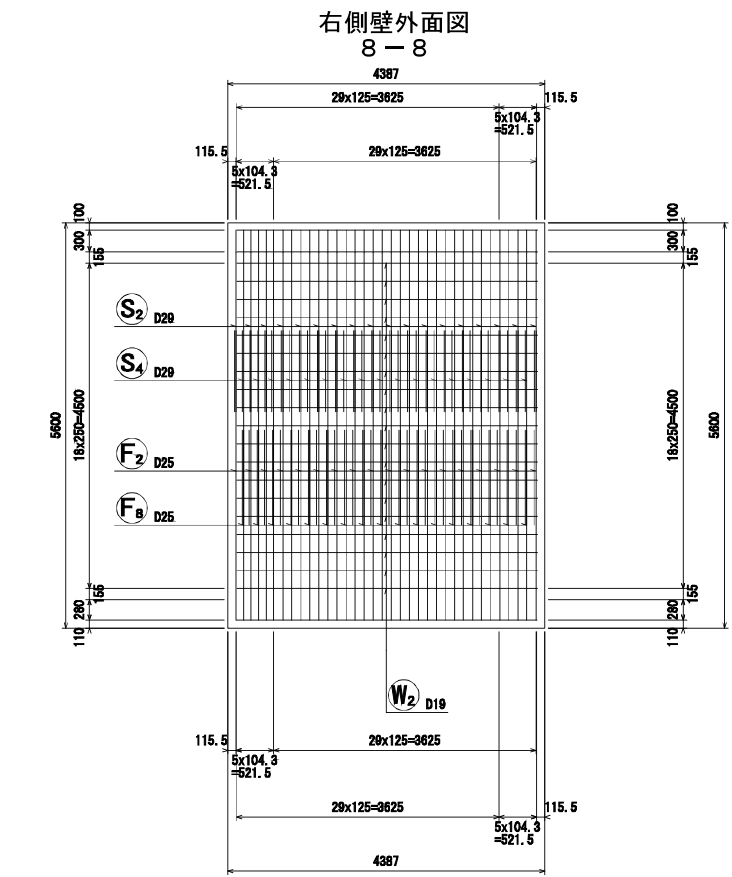
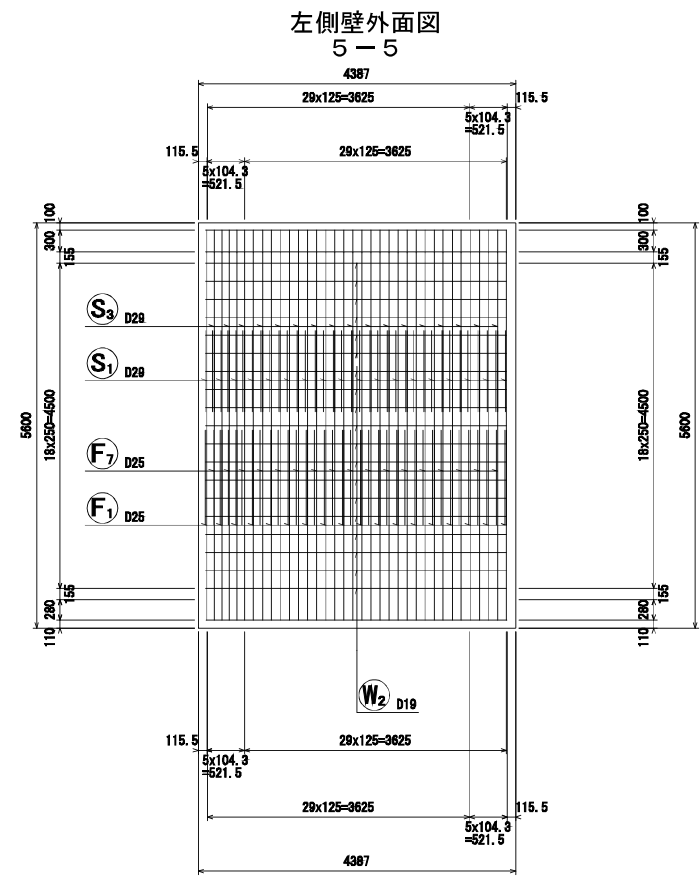
門型カルバート配筋図（本体）－ 2 S = 1:50



業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（本体）-2		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	4/14

門型カルバート配筋図（本体）－ 3

S = 1:50



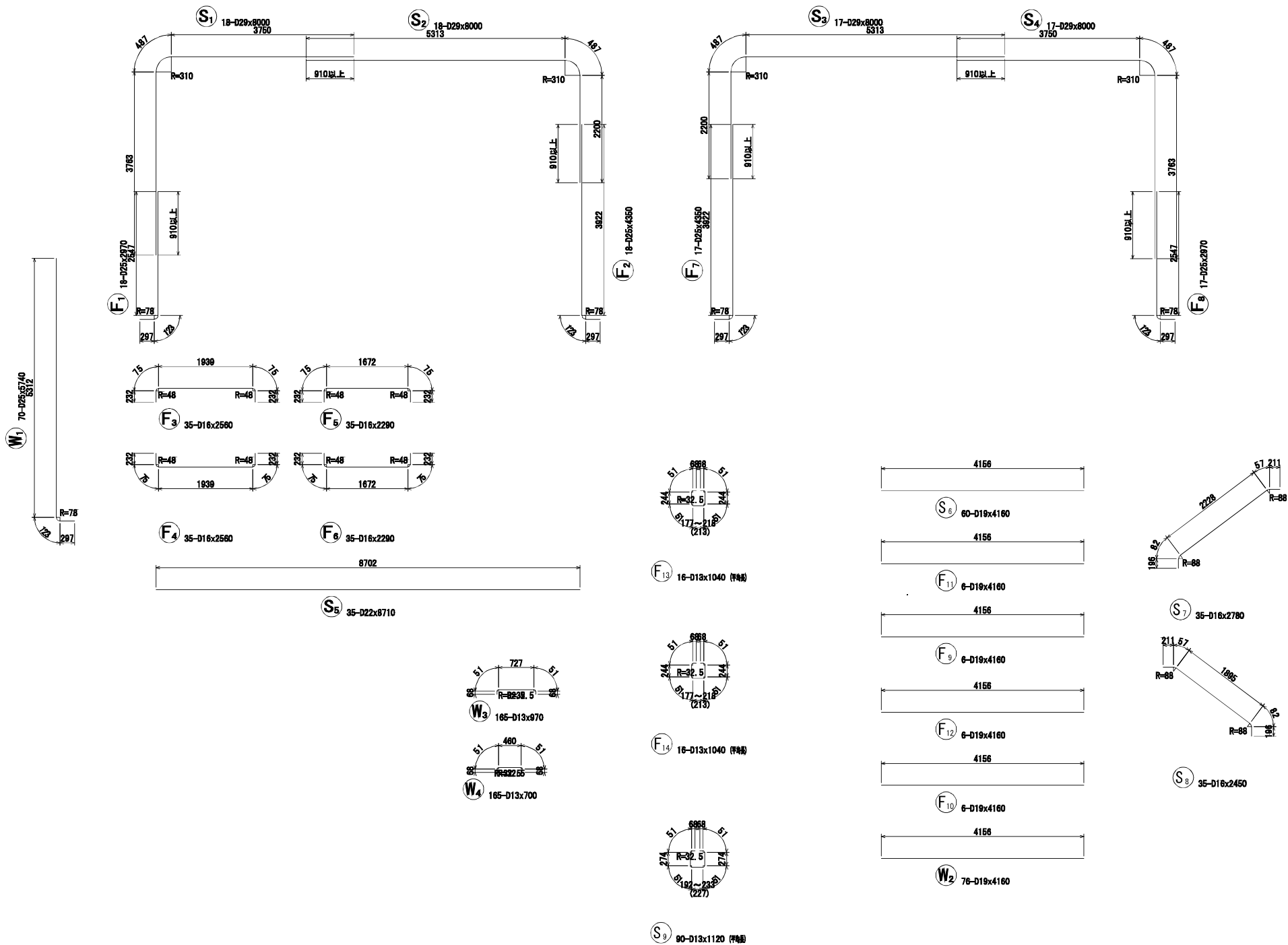
業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（本体）-3		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	5/14

門型カルバート配筋図（本体）－ 4

S=1:50

S = 1:50

加工図



変化表

番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L
S14-1	D13	13	192	1080	S15-1	D13	78	233	1121	F17-1	D13	2	177	1005	F18-1	D13	2	177	1005	F19-1	D13	2	177	1005
2	D13	77	233	1121	2	D13	11	192	1080	2	D13	14	218	1046	2	D13	14	218	1046	2	D13	14	218	1046
平均		90		1120	平均		88		1120	平均		16		1040	平均		16		1040	平均		16		1040

鉄筋表

配 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	摘 要
S1	D29	8000	18	5.04	40.320	726	
S2	D29	8000	18	5.04	40.320	726	
S3	D29	8000	17	5.04	40.320	686	
S4	D29	8000	17	5.04	40.320	686	
S5	D22	8710	35	3.04	26.478	927	
S6	D19	4180	60	2.25	9.360	562	
S7	D16	2780	35	1.56	4.337	152	
S8	D16	2450	35	1.56	3.822	134	
S9	D13	1120	90	0.995	1.114	107	(特製)
W1	D25	5740	70	3.98	22.845	1599	
W2	D19	4180	76	2.25	9.360	711	
W3	D13	970	165	0.995	0.985	159	
W4	D13	700	165	0.995	0.697	115	
F1	D25	2970	18	3.98	11.821	213	
F2	D25	4350	18	3.98	17.313	312	
F3	D16	2580	35	1.56	3.994	140	
F4	D16	2580	35	1.56	3.994	140	
F5	D16	2290	35	1.56	3.572	125	
F6	D16	2290	35	1.56	3.572	125	
F7	D25	4350	17	3.98	17.313	284	
F8	D25	2970	17	3.98	11.821	201	
F9	D19	4180	6	2.25	9.360	56	
F10	D19	4180	6	2.25	9.360	56	
F11	D19	4180	8	2.25	9.360	56	
F12	D19	4180	6	2.25	9.360	56	
F13	D13	1040	16	0.995	1.035	17	(特製)
F14	D13	1040	16	0.995	1.035	17	(特製)
						D29	2822 kg
						D25	2619 kg
						D22	927 kg
						D19	1497 kg
						D16	816 kg
						D13	415 kg
						合計	9098 kg

業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇 所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（本体）-4		
縮尺	図 示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	6/14

S = 1:50 1:100

Technical drawing of a building section showing structural details, dimensions, and reinforcement. The drawing includes a cross-section of a wall and floor slab, with dimensions in millimeters. Key dimensions include a total width of 5704 mm, a total height of 700 mm, and a total length of 5300 mm. Reinforcement details include 20x250-5000 bars, 66x125-6250 bars, and 4x250-1000 bars. Labels include L1, L34, L35, L36, L37, L39, L10, L17, L24, D13, D19, D29, and D18.

Technical drawing of a window frame assembly. The drawing shows a cross-section of the frame with various dimensions and component labels.

Dimensions:

- Overall width: 700
- Top left offset: 76
- Top middle offset: 540
- Top right offset: 84
- Left side height: 5687
- Left side offset: 2,350 ± 500
- Left side offset: 100
- Left side offset: 76
- Left side offset: 161
- Right side height: 5686
- Right side offset: 100
- Right side offset: 88.3
- Right side offset: 100
- Right side offset: 161
- Bottom right offset: 21x20-5250

Component Labels:

- L₇ D19**: Label for the left side of the frame.
- L₃₄ D13**: Label for the top right corner of the frame.
- L₂₁ D13**: Label for the right side of the frame.
- L₄₃ D13**: Label for the bottom right corner of the frame.

Technical drawing of a square table. The overall dimensions are 5439 mm by 5439 mm. The table has a central square opening with dimensions 2020 mm by 5000 mm. The drawing includes various labels and dimensions for the table's structure and components.

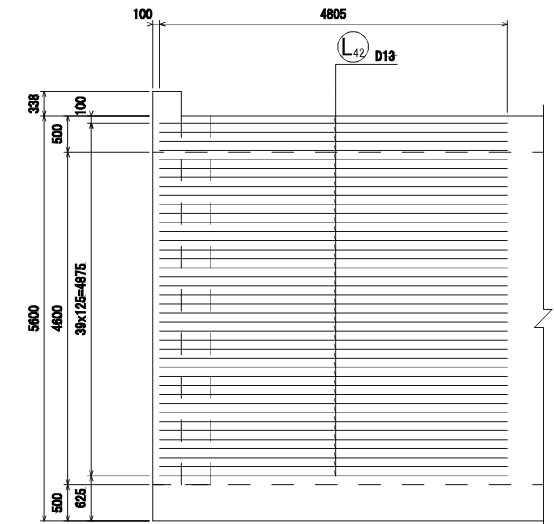
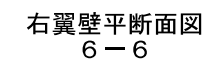
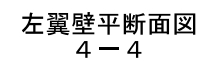
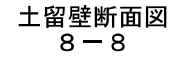
Labels and dimensions shown in the drawing:

- Overall width: 5439
- Overall height: 5439
- Central opening width: 2020
- Central opening height: 5000
- Top edge dimensions: 100, 238.3, 100
- Right edge dimensions: 100, 238.3, 100
- Bottom edge dimensions: 100, 238.3, 100
- Left edge dimensions: 100, 238.3, 100
- Top edge detail dimensions: 87, 226, 87
- Top edge detail width: 400
- Labels: L₁₄, L₃₅, L₂₇, L₄₄
- Labels: D13, D13, D13, D13

業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇 所	白石市小原 地内		
図面名	門型加ハート筋筋図（上流翼壁）-5		
縮尺	図 示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	7/14

S = 1:50

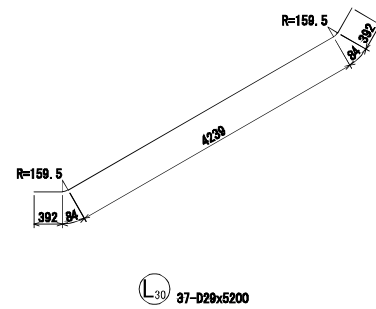
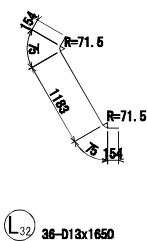
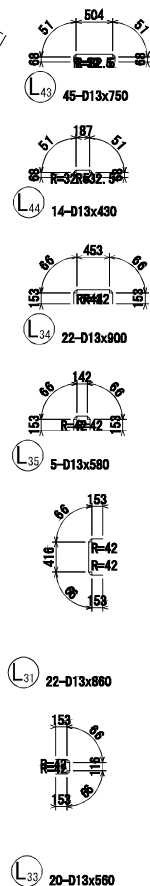
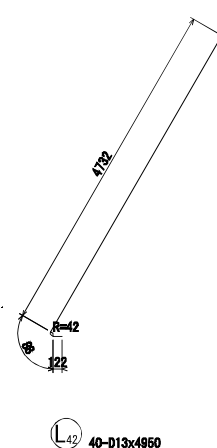
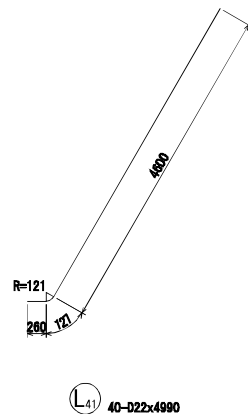
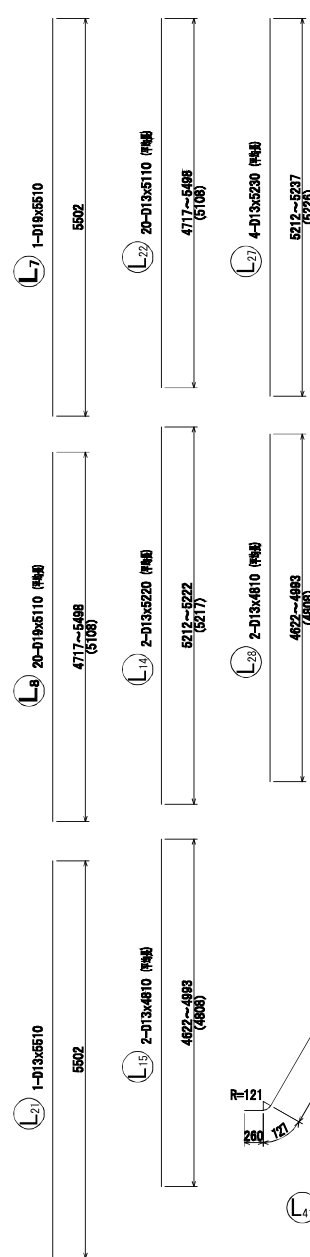
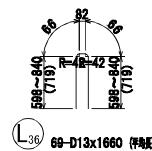
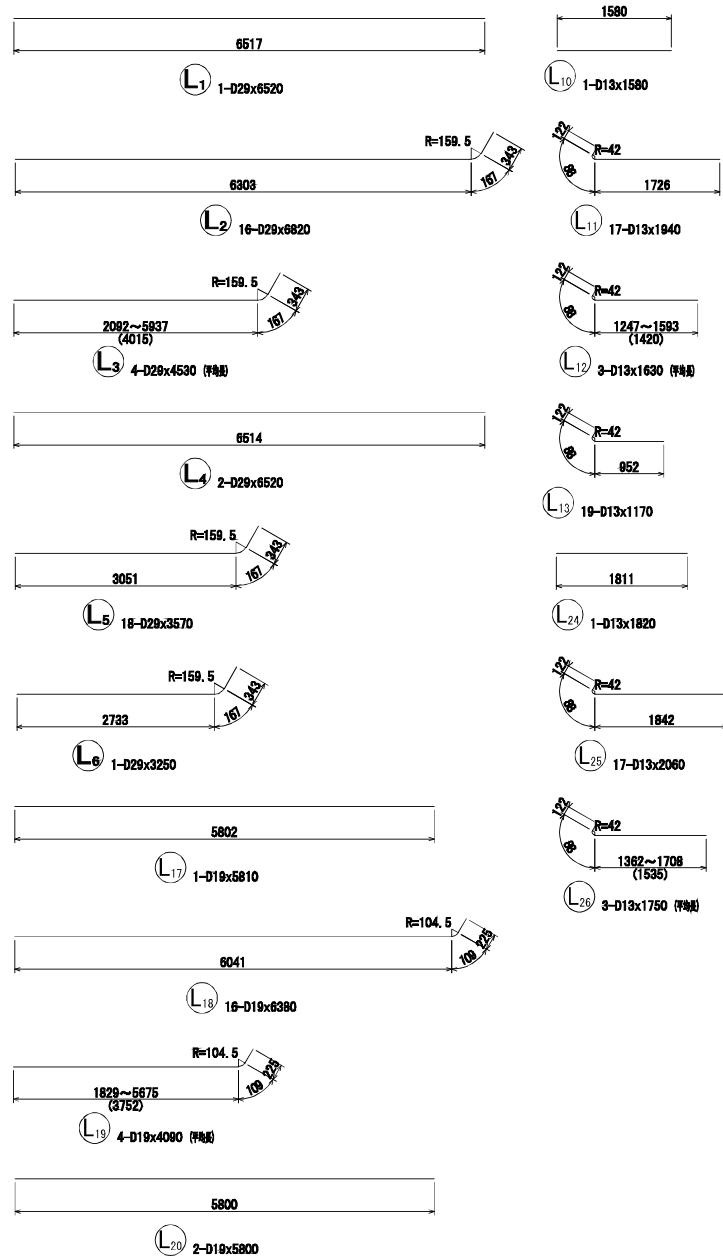
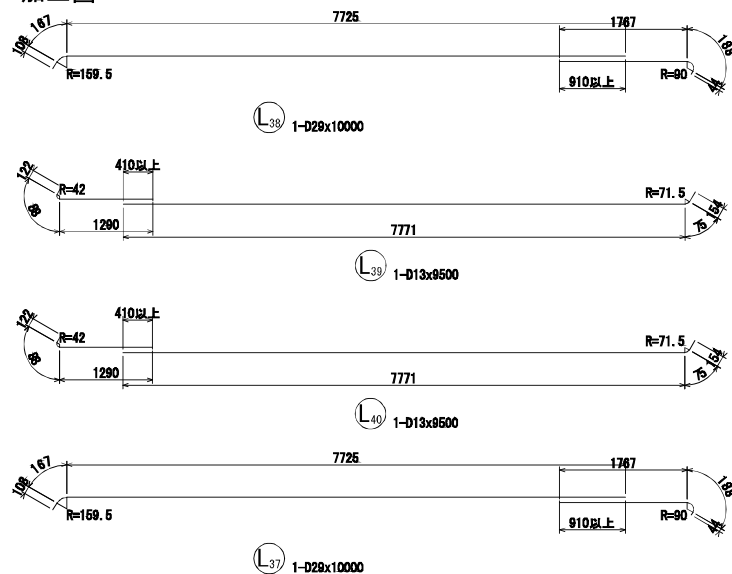
15733



業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図(上流翼壁)-6		
縮尺	図 示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	8/14

門型カルバート配筋図（上流翼壁）－ 7

加工図



鉄筋表

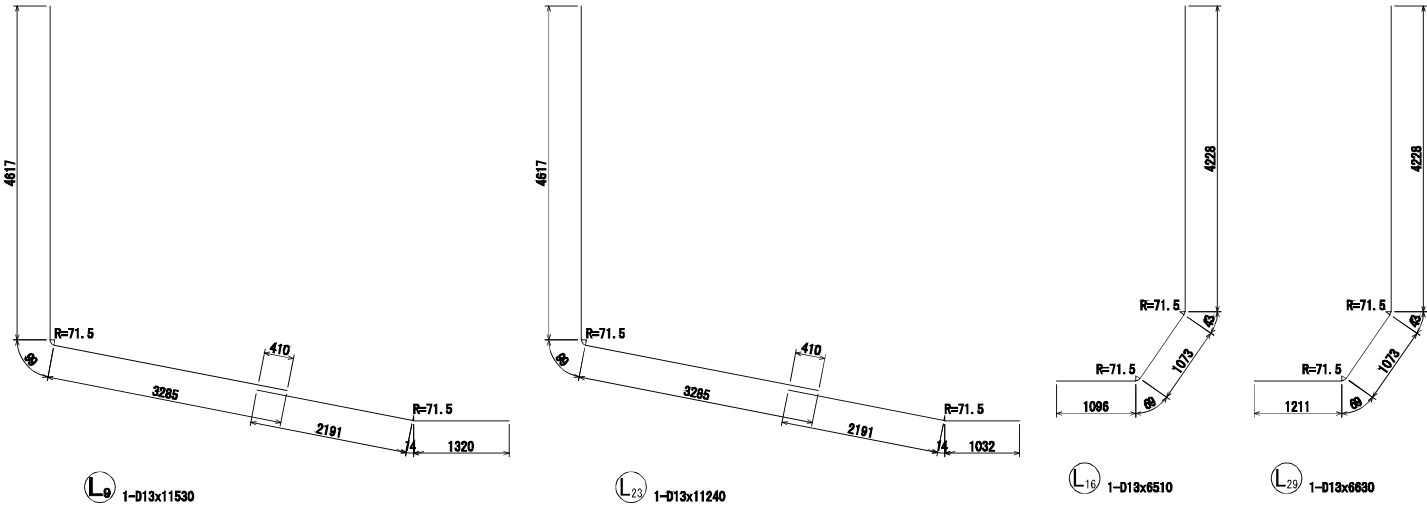
[illegible]

業務名	令和7年度 林道森黒線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型架材ト配筋図(上流翼壁)-7		
縮尺	図 示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	9/14

門型カルバート配筋図（上流翼壁）－8

S=1:50

加工図



変化表

番号	径	本数	a	b	L
L36-61	D13	1	625	625	1464
62	D13	1	622	622	1458
63	D13	1	618	618	1450
64	D13	1	615	615	1444
65	D13	1	611	611	1436
66	D13	1	607	607	1428
67	D13	1	604	604	1422
68	D13	1	600	600	1414
69	D13	1	598	598	1410
平均		69			1660

変化表

番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L
L3-1	D20	1	5937	6447	L8-1	D19	1	4717	4717	L12-1	D13	1	1593	1803	L14-1	D13	1	5212	5212	L15-1	D13	1	4822	4822	L19-1	D19	1	5675	6008	L22-1	D13	1	4717	4717
2	D20	1	4855	5165	2	D19	1	4758	4758	2	D13	1	1420	1630	2	D13	1	5222	5222	2	D13	1	4993	4993	2	D19	1	4393	4727	2	D13	1	4758	4758
3	D20	1	3374	3884	3	D19	1	4799	4799	3	D13	1	1247	1457	平均		2		5220	平均		2		4810	3	D19	1	3111	3445	3	D13	1	4799	4799
4	D20	1	2092	2602	4	D19	1	4840	4840	平均		3		1630					平均		4		4810	4	D19	1	1829	2183	4	D13	1	4840	4840	
平均		4		4530	5	D19	1	4881	4881												4		4090	5	D13	1	4881	4881	5	D13	1	4881	4881	
					6	D19	1	4922	4922														6	D13	1	4822	4822	6	D13	1	4822	4822		
					7	D19	1	4964	4964														7	D13	1	4964	4964	7	D13	1	4964	4964		
					8	D19	1	5005	5005														8	D13	1	5005	5005	8	D13	1	5005	5005		
					9	D19	1	5046	5046														9	D13	1	5046	5046	9	D13	1	5046	5046		
					10	D19	1	5087	5087														10	D13	1	5087	5087	10	D13	1	5087	5087		
					11	D19	1	5128	5128														11	D13	1	5128	5128	11	D13	1	5128	5128		
					12	D19	1	5169	5169														12	D13	1	5169	5169	12	D13	1	5169	5169		
					13	D19	1	5210	5210														13	D13	1	5210	5210	13	D13	1	5210	5210		
					14	D19	1	5251	5251														14	D13	1	5251	5251	14	D13	1	5251	5251		
					15	D19	1	5293	5293														15	D13	1	5293	5293	15	D13	1	5293	5293		
					16	D19	1	5334	5334														16	D13	1	5334	5334	16	D13	1	5334	5334		
					17	D19	1	5375	5375														17	D13	1	5375	5375	17	D13	1	5375	5375		
					18	D19	1	5416	5416														18	D13	1	5416	5416	18	D13	1	5416	5416		
					19	D19	1	5457	5457														19	D13	1	5457	5457	19	D13	1	5457	5457		
					20	D19	1	5498	5498														20	D13	1	5498	5498	20	D13	1	5498	5498		
					平均		20		5110														平均		20		5110		平均		20		5110	

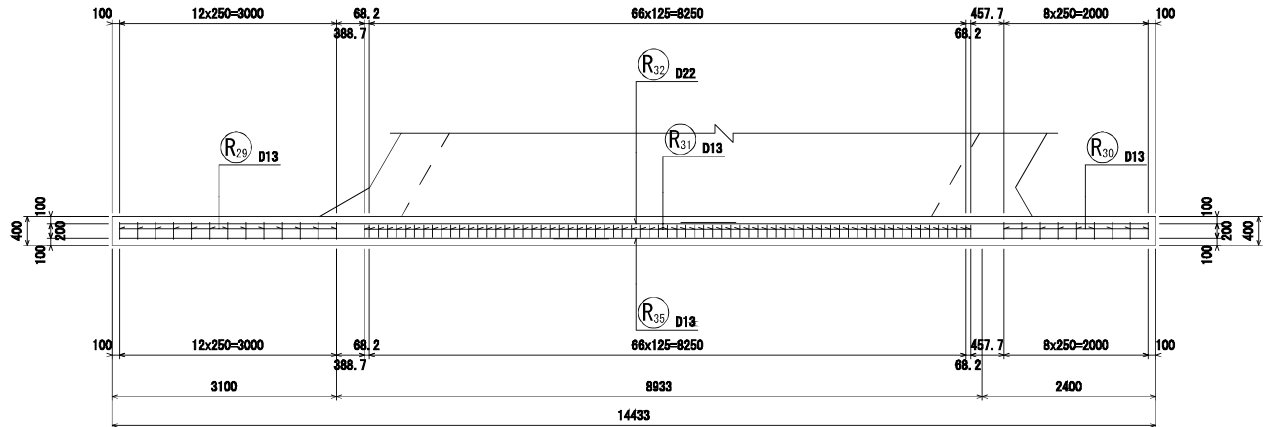
番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	b	L	番号	径	本数	a	b	L	番号	径	本数	a	b	L
L26-1	D13	1	1708	1918	L27-1	D13	1	5212	5212	L28-1	D13	1	4622	4622	L36-1	D13	1	840	840	1894	L36-21	D13	1	770	770	1754	L36-41	D13	1	698	698	1610
2	D13	1	1535	1745	2	D13	1	5222	5222	2	D13	1	4993	4993	2	D13	1	838	838	1890	22	D13	1	766	766	1746	42	D13	1	694	694	1602
3	D13	1	1362	1572	3	D13	1	5232	5232	平均		2		4810	3	D13	1	835	835	1884	23	D13	1	763	763	1740	43	D13	1	690	690	1594
平均		3		1750	4	D13	1	5237	5237						4	D13	1	831	831	1876	24	D13	1	759	759	1732	44	D13	1	687	687	1588
					平均		4		5230						5	D13	1	828	828	1870	25	D13	1	755	755	1724	45	D13	1	683	683	1580
															6	D13	1	824	824	1862	26	D13	1	752	752	1718	46	D13	1	680	680	1574
															7	D13	1	820	820	1854	27	D13	1	748	748	1710	47	D13	1	676	676	1566
															8	D13	1	817	817	1848	28	D13	1	745	745	1704	48	D13	1	672	672	1558
															9	D13	1	813	813	1840	29	D13	1	741	741	1696	49	D13	1	669	669	1552
															10	D13	1	810	810	1834	30	D13	1	737	737	1688	50	D13	1	665	665	1544
															11	D13	1	806	806	1826	31	D13	1	734	734	1682	51	D13	1	662	662	1538
															12	D13	1	802	802	1818	32	D13	1	730	730	1674	52	D13	1	658	658	1530
															13	D13	1	799	799	1812	33	D13	1	727	727	1668	53	D13	1	654	654	1522
															14	D13	1	795	795	1804	34	D13	1	723	723	1660	54	D13	1	651	651	1516
															15	D13	1	792	792	1798	35	D13	1	719	719	1652	55	D13	1	647	647	1508
															16	D13	1	788	788	1790	36	D13	1	716	716	1646	56	D13	1	644	644	1502
															17	D13	1	784	784	1782	37	D13	1	712	712	1638	57	D13	1	640	640	1494
															18	D13	1	781	781	1776	38	D13	1	709	709	1632	58	D13	1	636	636	1486
															19	D13	1	777	777	1768	39	D13	1	705	705	1624	59	D13	1	633	633	1480
															20	D13	1	773	773	1760	40	D13	1	701	701	1616	60	D13	1	629	629	1472

業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（上流翼壁）-8		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
白石市		図番	10/14

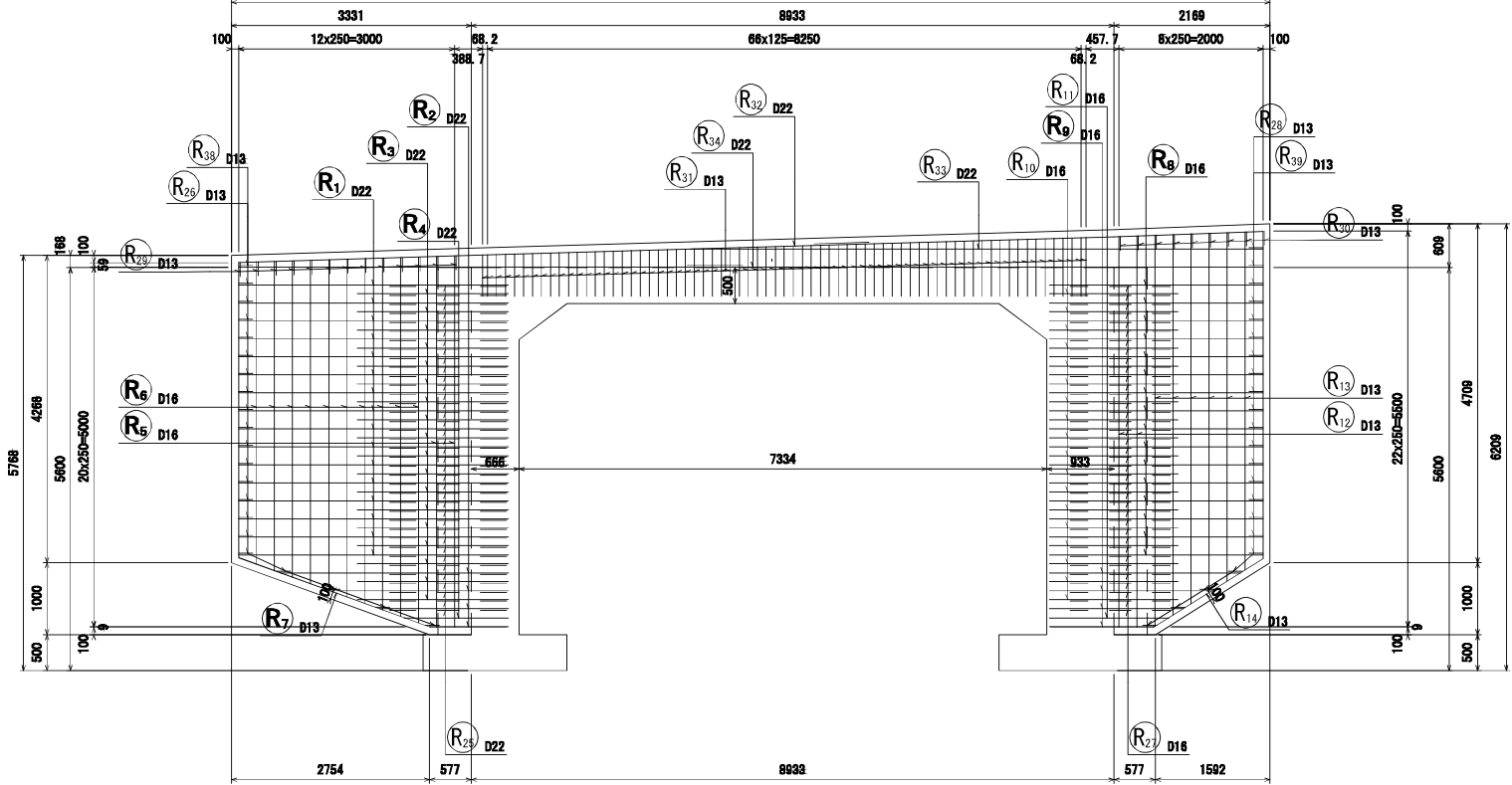
門型カルバート配筋図（下流翼壁）－9

S = 1:50 1:100

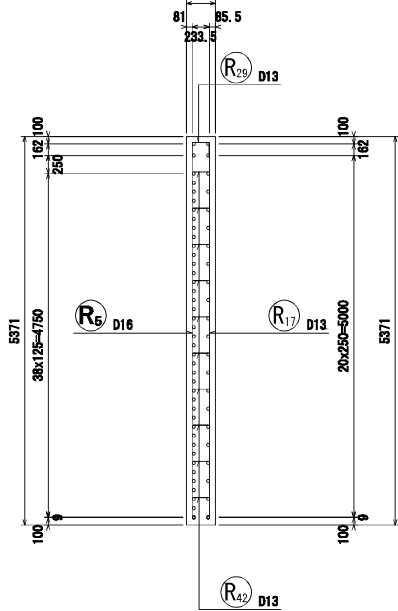
天端平面図
3－3



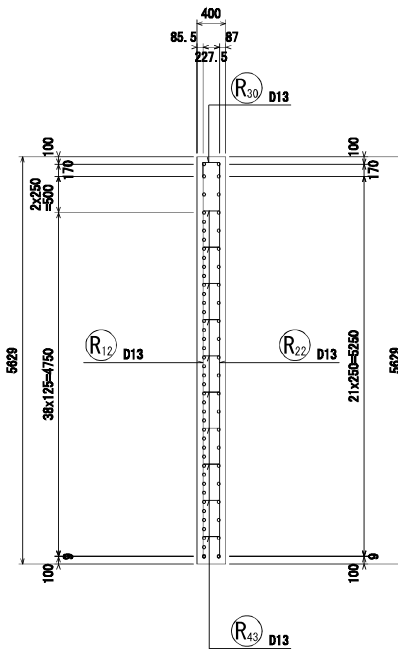
背面図
1－1



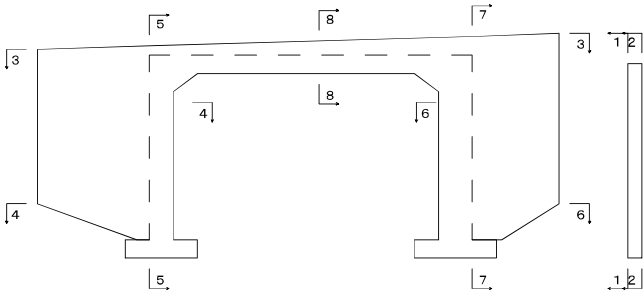
左翼壁断面図
5－5



右翼壁断面図
7－7



位置図



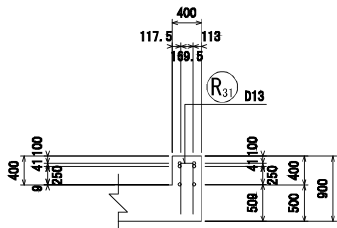
業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（下流翼壁）-9		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	11/14

門型カルバート配筋図（下流翼壁）－１０

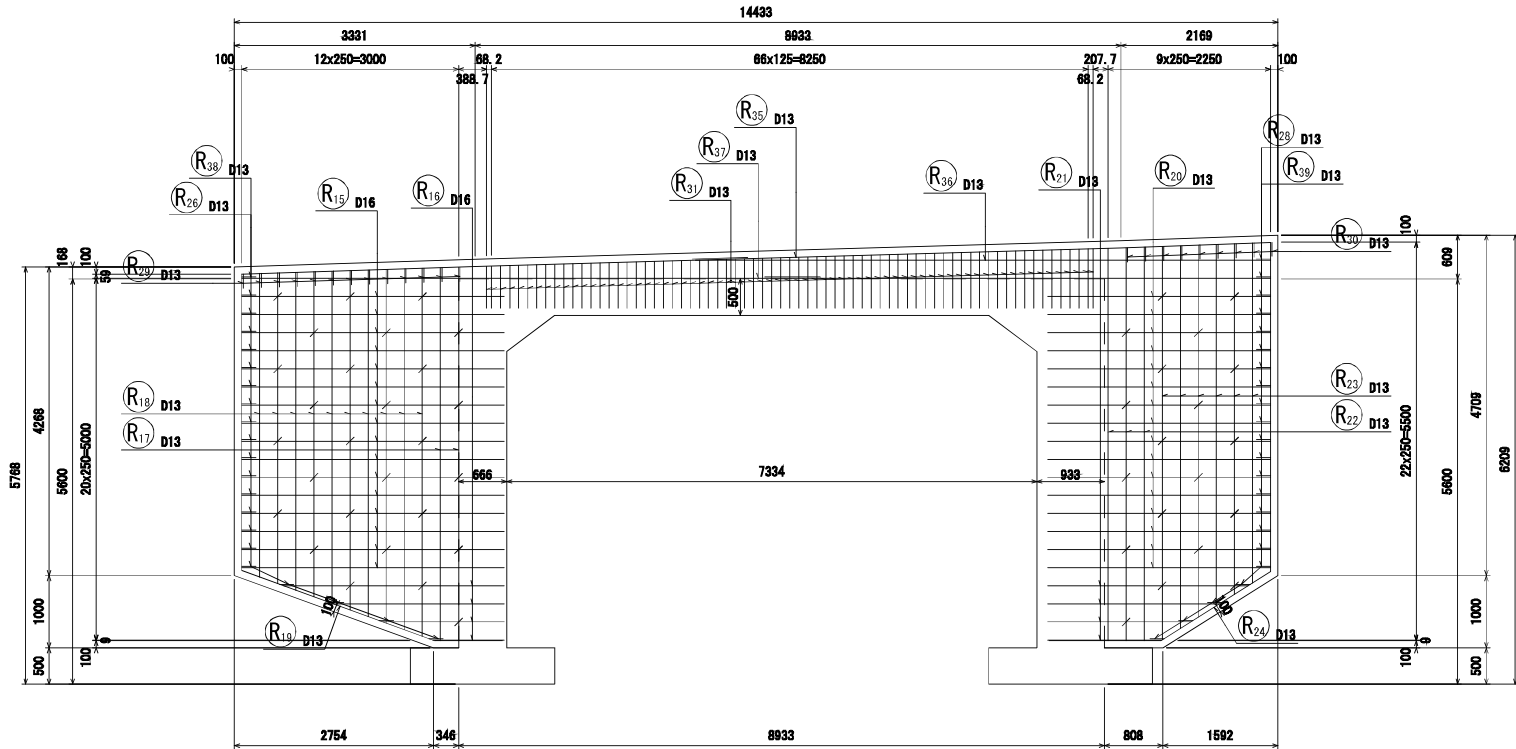
S=1:50

S = 1:50

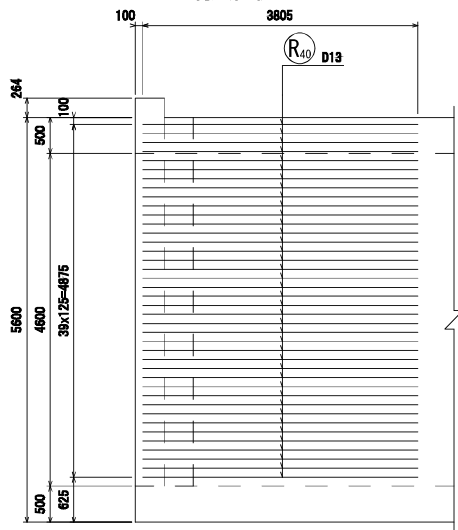
土留壁断面図
8－8



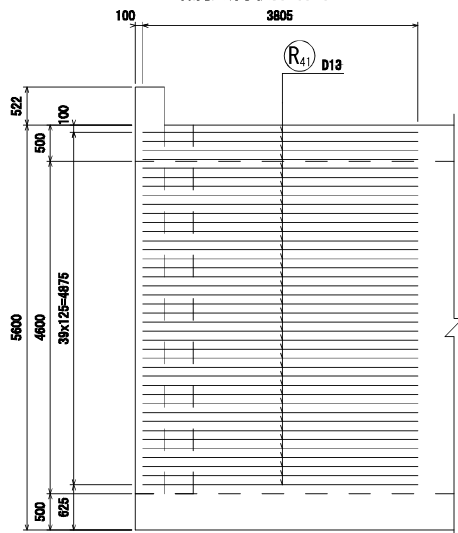
前面図
2－2



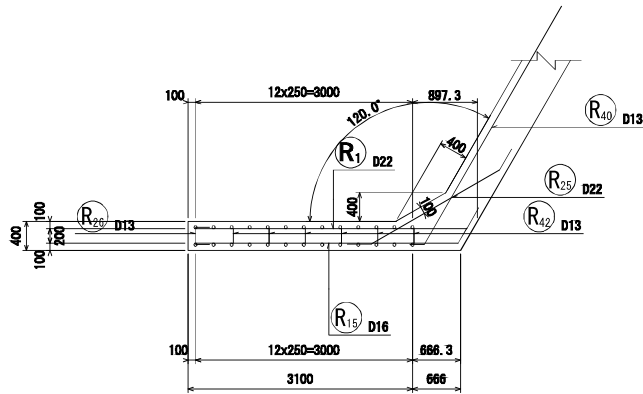
左補強筋側面図



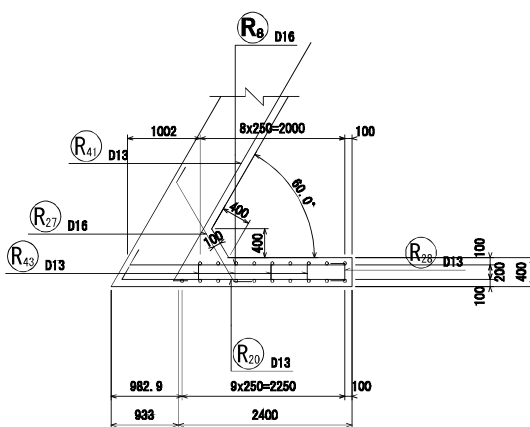
右補強筋側面図



左翼壁平断面図
4－4



右翼壁平断面図
6－6

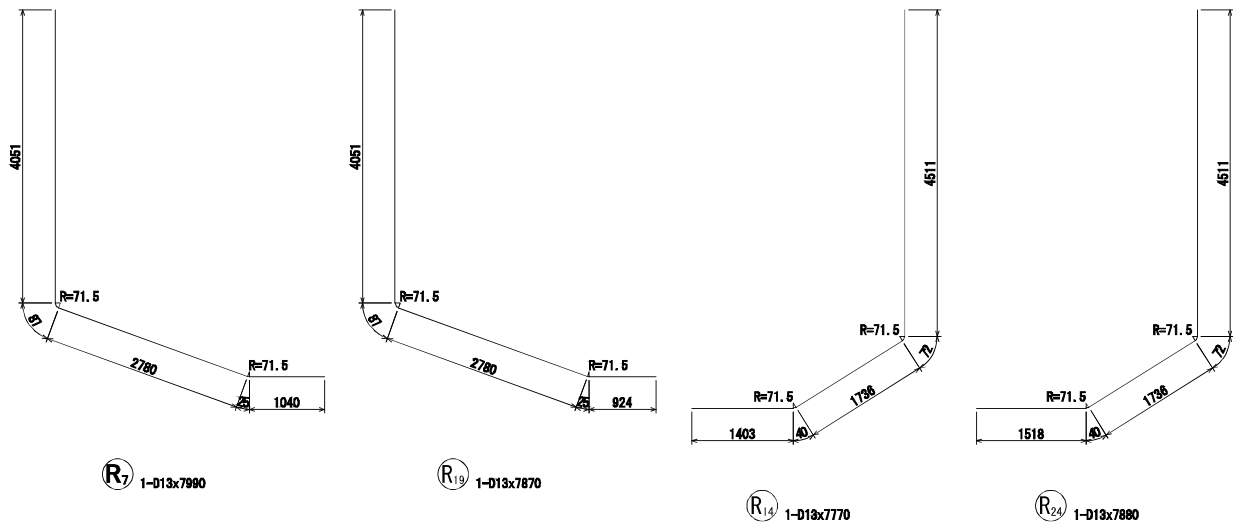


業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（下流翼壁）-10		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	12/14

門型カルバート配筋図（下流翼壁）－ 1 2

S = 1:50

加工図



変化表

番号	径	本数	a	b	L	番号	径	本数	a	b	L
R31-41	D13	1	676	676	1570	R31-61	D13	1	749	749	1716
42	D13	1	680	680	1578	62	D13	1	752	752	1722
43	D13	1	684	684	1586	63	D13	1	756	756	1730
44	D13	1	687	687	1592	64	D13	1	759	759	1738
45	D13	1	691	691	1600	65	D13	1	763	763	1744
46	D13	1	694	694	1606	66	D13	1	767	767	1752
47	D13	1	698	698	1614	67	D13	1	770	770	1758
48	D13	1	702	702	1622	68	D13	1	774	774	1766
49	D13	1	705	705	1628	69	D13	1	776	776	1770
50	D13	1	709	709	1636	平均		69			1630
51	D13	1	712	712	1642						
52	D13	1	716	716	1650						
53	D13	1	720	720	1658						
54	D13	1	723	723	1664						
55	D13	1	727	727	1672						
56	D13	1	730	730	1678						
57	D13	1	734	734	1686						
58	D13	1	738	738	1694						
59	D13	1	741	741	1700						
60	D13	1	745	745	1708						

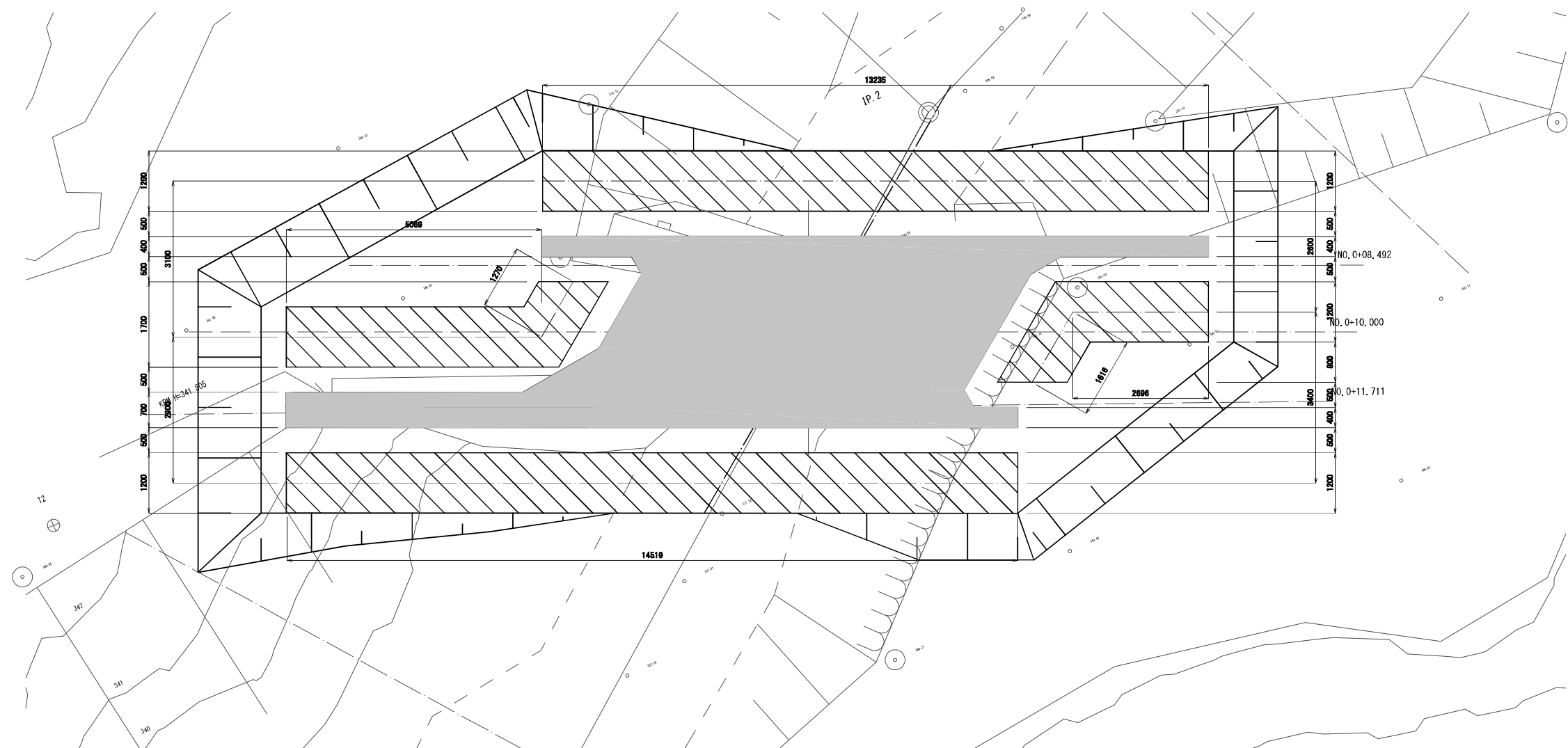
変化表

番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L					
R2-1	D22	1	3100	3487	R5-1	D16	1	5156	5156	R6-1	D16	1	4200	4200	R9-1	D16	1	2572	2830	R12-1	D13	1	5441	5441	R13-1	D13	1	4698	4698	R16-1	D16	1	3000	3281
2	D22	1	2411	2798	2	D16	1	5164	5164	2	D16	1	4298	4298	2	D16	1	2174	2432	2	D13	1	5432	5432	2	D13	1	4846	4846	2	D16	1	2311	2582
3	D22	1	1723	2110	平均		2		5160	3	D16	1	4397	4397	3	D16	1	1776	2034	平均		2		5440	3	D13	1	4993	4993	3	D16	1	1623	1904
4	D22	1	1034	1421						4	D16	1	4495	4495	4	D16	1	1378	1636						4	D13	1	5141	5141	4	D16	1	934	1215
平均		4		2460						5	D16	1	4594	4594	平均		4		2240					5	D13	1	5289	5289	平均		4		2250	
										6	D16	1	4692	4692										6	D13	1	5437	5437						
										7	D16	1	4791	4791										平均		6		5070						
										8	D16	1	4889	4889																				
										9	D16	1	4988	4988																				
										10	D16	1	5086	5086																				
										平均		10		4650																				

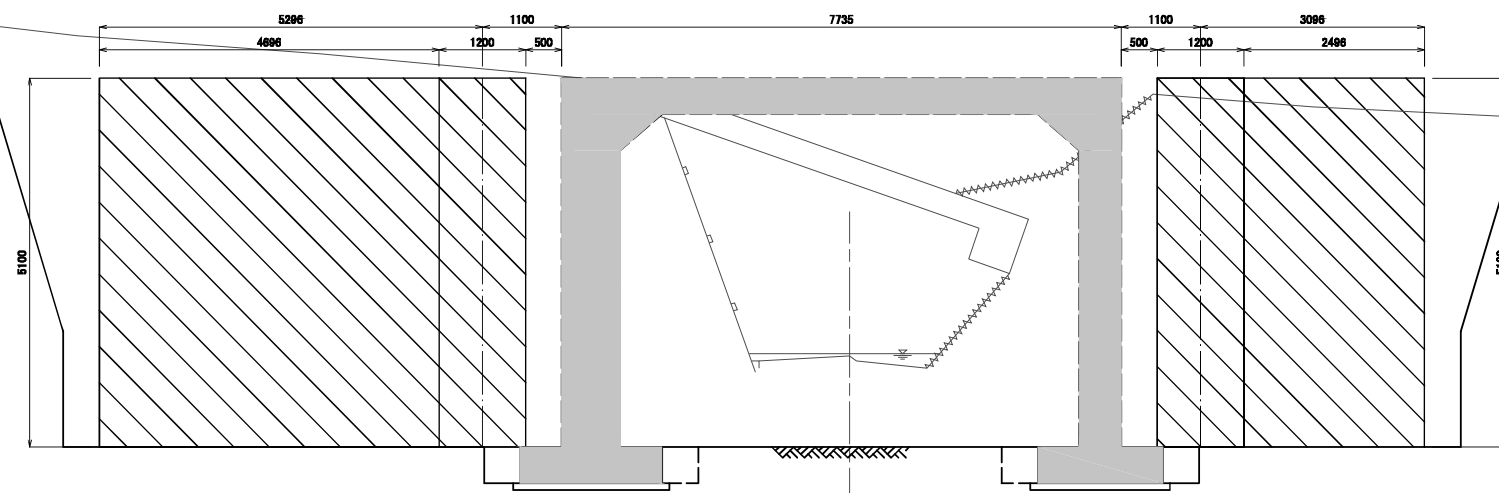
番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	L	番号	径	本数	a	b	L	番号	径	本数	a	b	L						
R17-1	D13	1	5156	5156	R18-1	D13	1	4200	4200	R21-1	D13	1	2696	2906	R22-1	D13	1	5441	5441	R23-1	D13	1	4698	4698	R31-1	D13	1	534	534	1286	R31-21	D13	1	604	604	1426	
2	D13	1	5164	5164	2	D13	1	4298	4298	2	D13	1	2298	2508	2	D13	1	5432	5432	2	D13	1	4846	4846	2	D13	1	536	536	1290	22	D13	1	608	608	1434	
平均		2		5180	3	D13	1	4397	4397	3	D13	1	1900	2110	3	D13	1	5424	5424	3	D13	1	4993	4993	3	D13	1	539	539	1296	23	D13	1	611	611	1440	
					4	D13	1	4495	4495	4	D13	1	1502	1712	平均		3		5440		4	D13	1	5141	5141	4	D13	1	543	543	1304	24	D13	1	615	615	1448
					5	D13	1	4594	4594	平均		4		2310						5	D13	1	5289	5289	5	D13	1	546	546	1310	25	D13	1	619	619	1456	
					6	D13	1	4692	4692											6	D13	1	5437	5437	6	D13	1	550	550	1318	26	D13	1	622	622	1462	
					7	D13	1	4791	4791						平均		6		5070		7	D13	1	554	554	1326	27	D13	1	626	626	1470					
					8	D13	1	4889	4889											8	D13	1	557	557	1332	28	D13	1	629	629	1476						
					9	D13	1	4988	4988											9	D13	1	561	561	1340	29	D13	1	633	633	1484						
					10	D13	1	5086	5086											10	D13	1	564	564	1346	30	D13	1	637	637	1492						
					平均		10		4650											11	D13	1	568	568	1354	31	D13	1	640	640	1498						
																				12	D13	1	572	572	1362	32	D13	1	644	644	1506						
																				13	D13	1	575	575	1368	33	D13	1	647	647	1512						
																				14	D13	1	579	579	1376	34	D13	1	651	651	1520						
																				15	D13	1	582	582	1382	35	D13	1	655	655	1528						
																				16	D13	1	586	586	1390	36	D13	1	658	658	1534						
																				17	D13	1	590	590	1398	37	D13	1	662	662	1542						
																				18	D13	1	593	593	1404	38	D13	1	665	665	1548						
																				19	D13	1	597	597	1412	39	D13	1	669	669	1556						
																				20	D13	1	601	601	1420	40	D13	1	673	673	1564						

業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	門型カルバート配筋図（下流翼壁）-12		
縮尺	図示	位置	
設計者		設計年度	
白石市		図番	14/14

平面图



NO. 0+10.000



DL=335,000

業務名	令和 7年度 林道黒森線（無名橋 3） 橋梁修繕工事		
箇 所	白石市小原 地内		
図面名	仮設計計画図-1		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	参考図 1

仮設計画図-2

(支保工)

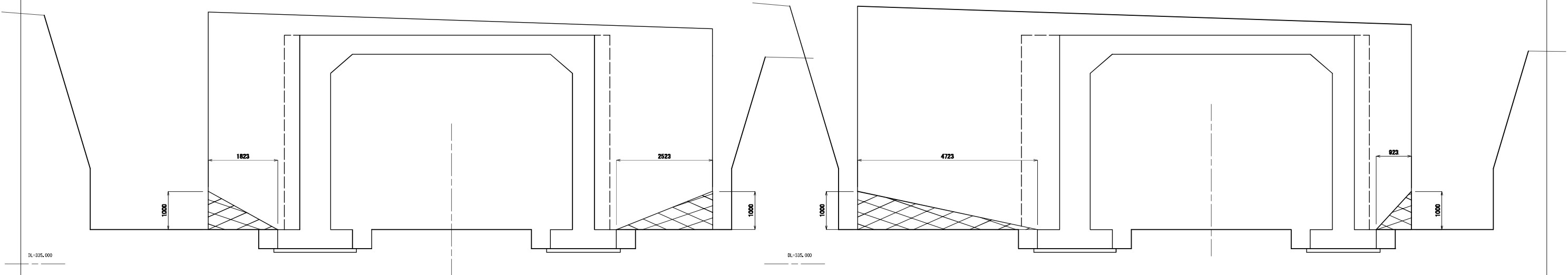
横断図

下流側

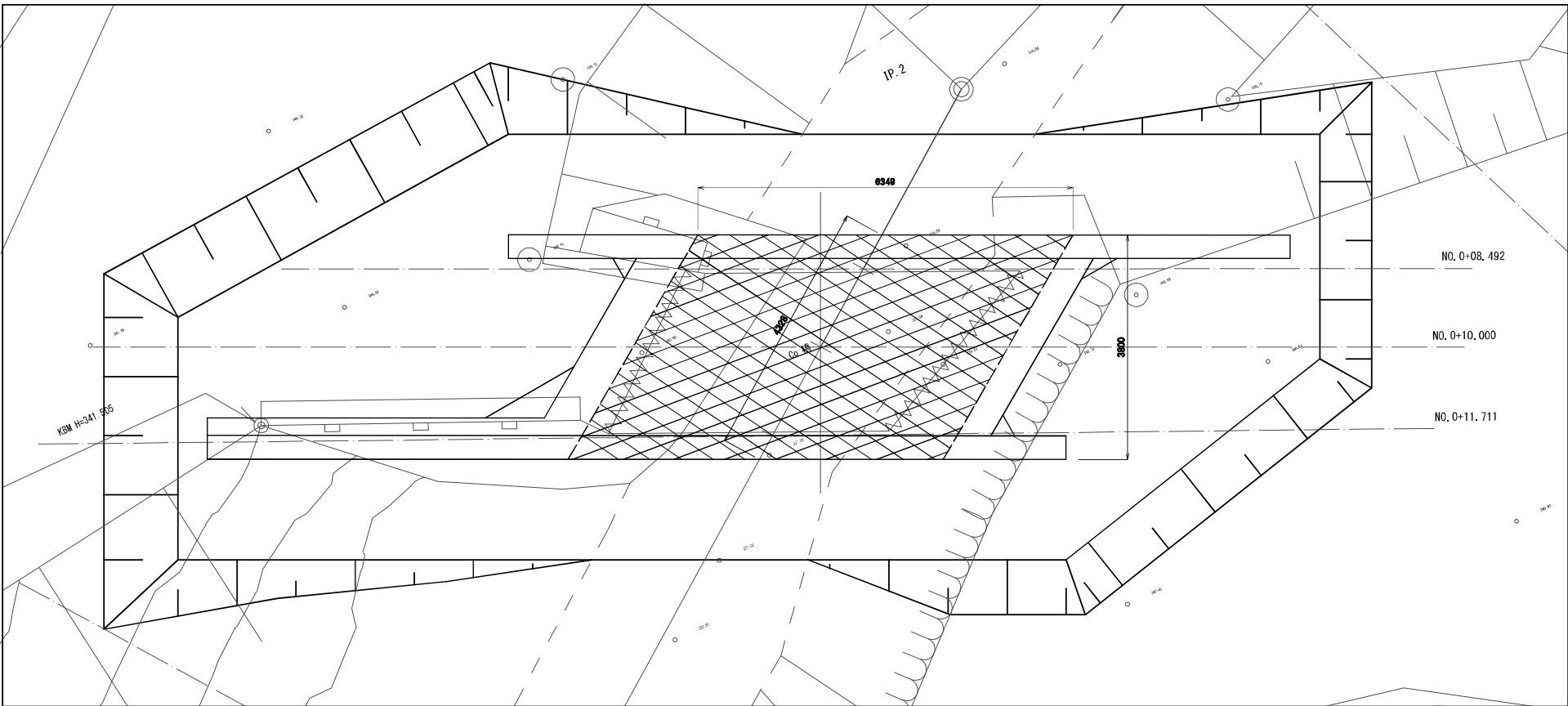
NO. 0+08.492

上流側

NO. 0+11.711



平面図



業務名	令和7年度 林道黒森線（無名橋3） 橋梁修繕工事		
箇所	白石市小原 地内		
図面名	仮設計画図-2		
縮尺	1:50	位置	
設計者		設計 年度	
白石市		図番	参考図 2